

2026年度

東京科学大学リベラルアーツ研究教育院

国府台 履修の手引き

目 次

I 2026 年度授業計画

国府台地区学年暦	2
授業時間	3
国府台地区カレンダー	4

II 全学科共通科目の履修について

1. 教養教育の目的と概要

1) 医学科／歯学科の教養教育の概要	9
2) 保健衛生学科／口腔保健学科の教養教育の概要	10
3) コンピテンシー一覧表	11

2. 必修科目と選択科目

1) 医学部医学科	12
2) 歯学部歯学科	14
3) 医学部保健衛生学科看護学専攻	16
4) 医学部保健衛生学科検査技術学専攻	18
5) 歯学部口腔保健学科	20

3. 各科目の履修手続きについて

1) 人文科学・社会科学科目の選択と履修手続きについて	22
2) 外国語科目のクラス分けと履修手続きについて	22
3) 自然科学科目のクラス分けと履修手続きについて	22
4) 教養選択科目の選択と履修手続きについて	23
5) 履修取消について	23
6) 試験と成績評価について	23
7) 学力認定試験について	24
8) GP (Grade Point) について	24

4. 教養セミナーについて

5. 大岡山 Day について

25

28

Ⅲ 開講科目の概要

1. 必修・選択科目

1) 人文科学・社会科学	34
・ 指針	
・ 開講科目一覧	
2) 自然科学	36
・ 指針	
・ 開講科目一覧	
3) 外国語	39
・ 指針	
・ 開講科目一覧	
4) フィジカルウェルビーイング	41
・ 指針	
・ 開講科目一覧	
2. 教養選択科目	43
・ 概要	
・ 開講科目一覧	
3. 専門課程における全学科共通科目（1年次後期）	45
・ 概要	
・ 開講科目一覧	
4. 専門科目（1年次）	46
・ 開講科目一覧	

IV 学生生活のために

- 1. 毎日の学生生活・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
- 2. 福利・厚生サービスなど・・・・・・・・ 55
- 3. 国府台地区施設の利用・・・・・・・・ 56
- 4. 諸手続の窓口一覧・・・・・・・・ 59

V 建物配置図・国府台地区教員連絡先

- 1. 国府台地区建物配置図・・・・・・・・ 64
- 2. 湯島地区建物配置図・・・・・・・・ 69
- 3. 大岡山地区建物配置図・・・・・・・・ 70
- 4. 国府台地区教員連絡先・・・・・・・・ 73

I . 2026 年度授業計画

第1学年 国府台地区学年暦

区 分		期 間	行 事
前 期	授 業	2026年4月10日(金)～ 7月31日(金)	4月2日(木) 入学式(大岡山地区※) 4月3日(金) 全学科共通科目ガイダンス (湯島地区※) 4月5日(日)～6日(月) 新入生ガイダンス(大岡山地区※)
	試験・補講	2026年8月31日(月)～ 9月11日(金)	4月7日(火) TOEFL/ITP、生物学プレースメントテスト 4月8日(水)～9日(木) 新入生健康診断、抗体検査 各学部学科ガイダンス、 情報システム説明会 (湯島地区※)
	夏季休業	2026年8月1日(土)～ 8月30日(日)	4月13日(月)～ 大岡山Day(大岡山地区※)
後 期	授 業	2026年9月16日(水)～ 12月17日(木) 2027年1月6日(水)～ 1月28日(木)	4月14日(火) 多職種連携 I (湯島地区※) 5月13日(水)午後：男子 20日(水)午後：女子 一般定期健康診断(湯島地区※)
	冬季休業	2026年12月18日(金)～ 2027年1月5日(火)	10月17日(土)、18日(日) 学園祭(予定)(湯島地区※) 3月18日(木) 進級発表
	試験・補講 再試験	2027年1月6日(水)～2月10日(水) ※前倒しで実施する場合があります	
	春季休業	2027年2月12日(金)～ 3月31日(水)	

※ (大岡山地区)は大岡山キャンパス、(湯島地区)は湯島キャンパスでの行事です。

※ 社会的状況に鑑み、予定を変更することもあります。

授業時間

	時限	時間	時限	時間
1講	1限	8:50~9:35	2限	9:45~10:30
2講	3限	10:45~11:30	4限	11:40~12:25
3講	5限	13:30~14:15	6限	14:25~15:10
4講	7限	15:25~16:10	8限	16:20~17:05
5講	9限	17:15~18:00	10限	18:10~18:55

2026年度 国府台地区授業等日程

【前期】

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	備考
月曜日	4/13	4/20	4/27	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	7/30	5/4は休み
大岡山Day	4/13	4/20	4/27	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8									
通常授業									6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	7/30	
火曜日	4/21	4/28	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/24	7/28		5/5は休み
水曜日	4/15	4/22	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29	7/31		4/29・5/6は休み
木曜日	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23		
金曜日	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17		

*行事、変則授業

- 4/2(木) 入学式(大岡山)
- 4/3(金) 全学科共通科目ガイダンス(カリキュラム及び大岡山Day)(湯島)
- 4/5(日)~6(月) 新入生ガイダンス(大岡山)
- 4/7(火) TOEFL(全学科)及び生物学プレースメントテスト(医・歯・検のみ)(国府台)、立志プロジェクトオンデマンド講義
- 4/8(水) 医学部: 学科・専攻ガイダンス(湯島)
- 4/9(木) 歯学部: 健康診断+四種抗体検査+情報ガイダンス(湯島)
- 4/10(金) 医学部: 健康診断+四種抗体検査+情報ガイダンス(湯島)
- 4/13(月) 歯学部: 学科・専攻ガイダンス(湯島)
- 4/14(火) 国府台での通常授業開始
- 5/13(水) 大岡山DAY(大岡山)
- 6/8(月) 多職種連携 I (湯島)
- 7/20(月・祝) 定期健康診断: 男子(湯島・午後)、5/20(水) 定期健康診断: 女子(湯島・午後)
- 7/24(金) 立志プロジェクト予備日
- 7/30(木) 授業実施
- 7/31(金) 火曜日の授業を実施
- 水曜日の授業を実施

【後期】

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	備考
月曜日																			
火曜日																			
水曜日	9/16	9/30	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16	1/6	1/13	1/20	1/27		9/23は休み
木曜日	9/17	9/24	10/1	10/8	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	1/7	1/14	1/21	1/28	
金曜日																			

Ⅱ. 全学科共通科目の履修について

1. 教養教育の目的と概要

アメリカでは、医師／歯科医師を目指す人々は、通常、4年制大学を卒業した後で、メディカル／デンタル・スクールに進み、4年間の専門教育を受けます。ロースクールやビジネス・スクールについても考え方は同じで、これらはいずれも学部教育の上に立つ専門職大学院としての地位を与えられています。職業に必要な知識や技術を身につけるだけならば、高校卒業後にただちに専門教育を開始することも可能でしょうし、その方が効率的なようにも見えますが、そうした近道を例外的にしか認めていないのは、これらの専門職が何よりも「公共的な」使命と責任を帯びた職業と見なされているからでしょう。医学／歯学を学ぶ人は、入学時にすでに社会的な自立をとげ、高い志と幅広い一般教養、基礎的な言語能力と基礎学力を備えている必要があると考えられているわけです。

残念ながら日本の現行制度（6年制専門教育）では、アメリカほど教養教育に十分な時間をかけることは困難ですが、かといって教養教育の重要性や必要性に日米で大きな開きがあるわけではありません。自国の歴史や文化についての知識は、国際間でのコミュニケーションに必須の前提です。また、新聞紙上で日々取り上げられている国際紛争、財政危機、環境破壊、失業、貧困、テロ、少年犯罪や家庭内暴力といった問題は決して私たちに無縁な問題ではなく、日々の医療現場にも深く影を落としています。

しかし、こうしたテーマについてじっくりと読書をしたり、関連ある講義を聴いたりする機会は、高校にも、また専門課程にもほとんどありません。短期間ではありますが、国府台キャンパスでは、専門教育に耐えうる基礎学力を鍛えるとともに、広く社会と人間についての認識を深め、将来、広い知的裾野をもった高度な真の専門人となることを目指していただきたいと思います。

国府台キャンパスで学ぶ1年の間、将来の自分の進路や職業についての自覚を新たにしながら、その展望の上に立ってしっかりとした基礎固めを行ってください。

1) 医学科／歯学科の教養教育の概要

各学年における教育の基本方針と履修科目（下線は必修科目、下線なしは選択科目）は以下のとおりです。

学期	基本方針	目標	履修科目（下線は必修科目）
第1学年 （前期）	広げる・固める	入門講義や概論を通じて、知識と理解力を広げ、基礎学力を固める。	物理学入門／化学入門／生物学入門 <u>数学Ⅰ</u> 、 <u>物理学Ⅰ</u> 、 <u>化学</u> 、 <u>生物学</u> 数学Ⅱ、物理学Ⅱ <u>自然科学実験</u> 、 <u>情報処理</u> 、 <u>英語Ⅰ</u> <u>人文社会科学概論Ⅰ・Ⅱ</u> 、 <u>国際地域文化入門</u> 人文科学・社会科学科目 ドイツ語Ⅰ・Ⅱ/フランス語Ⅰ・Ⅱ/中国語Ⅰ・Ⅱ/ スペイン語Ⅰ・Ⅱ/日本語Ⅰ・Ⅱ（留学生のみ） フィジカルウェルビーイング <u>立志プロジェクト</u> <u>教養選択科目（S科目）</u> （年間で1科目）
第1学年 （後期）	深める	より高度な講義・少人数セミナー、PBL等を通じて基礎学力を応用することで、知識と理解力を深める。	<u>教養基礎セミナー</u> 、 <u>サイエンスPBL入門</u> 、 <u>英語Ⅰ</u> <u>教養選択科目（S科目）</u> （年間で1科目） <専門課程共通科目> <u>アカデミック・リテラシー</u> 、 <u>医療とAI・ビッグデータ入門</u> 、 <u>AI・データサイエンスのための数学</u>
第2学年	発展させる	ELSIに関連するテキストを精読し、クラスごとに発表を行うことで、科学技術と社会との関係について分析し評価する視座や方法論を身につける。	<u>教養セミナーⅠ</u> <専門課程共通科目> <u>医療とAI・ビッグデータ応用</u> 、 <u>英語Ⅱ</u>
第3学年	仕上げる	教養卒論の執筆を通して、教養教育の集大成を目指す。自己問題提起・解決型の創造力を身につける。	<u>教養セミナーⅡ</u>
第5学年	実践する	医療・研究等のより現場に近い題材について、専門的な視座から分析・評価する実践力を涵養する。	<u>教養セミナーⅢ</u>

2) 保健衛生学科/口腔保健学科の教養教育の概要

各学年における教育の基本方針と履修科目（下線は必修科目、下線なしは選択科目）は以下のとおりです。

学期	基本方針	目標	履修科目（下線は必修科目）
第1学年 （前期）	広げる・固める	入門講義や概論を通じて、知識と理解力を広げ、基礎学力を固める。	<p>【看護学専攻・口腔保健学科】 <u>生物学基礎</u>、<u>化学基礎</u>、<u>情報科学</u>、<u>統計学</u>、<u>科学基礎実験</u>、<u>英語 I</u> <u>人文社会科学概論 I・II</u>、<u>国際地域文化入門</u> 人文科学・社会科学科目 ドイツ語 I・II/フランス語 I・II/中国語 I・II/ スペイン語 I・II/日本語 I・II（留学生のみ） フィジカルウェルビーイング フィットネスマネジメント（看護学のみ） <u>立志プロジェクト</u> <u>教養選択科目</u>（S科目）（年間で1科目）</p> <p>【検査技術学専攻】 物理学入門／化学入門／生物学入門 <u>数学 I</u>、<u>物理学 I</u>、<u>物理学 II</u>、<u>化学</u>、<u>生物学</u>、<u>情報科学</u>、<u>統計学</u> <u>科学基礎実験（通年）</u>、<u>英語 I</u> <u>人文社会科学概論 I・II</u>、<u>国際地域文化入門</u> 人文科学・社会科学科目 ドイツ語 I・II/フランス語 I・II/中国語 I・II/ スペイン語 I・II/日本語 I・II（留学生のみ） <u>立志プロジェクト</u> <u>教養選択科目</u>（S科目）（年間で1科目）</p>
第1学年 （後期）	深める	より高度な講義・少人数セミナー、PBL等を通じて基礎学力を応用することで、知識と理解力を深める。	<p><u>教養基礎セミナー</u>、<u>英語 I</u> <u>教養選択科目</u>（S科目）（年間で1科目）</p> <p><専門課程共通科目> <u>アカデミック・リテラシー</u>、<u>医療と AI・ビッグデータ入門</u>、<u>AI・データサイエンスのための数学</u></p>
第2学年	発展させる	ELSIに関連するテキストを精読し、クラスごとに発表を行うことで、科学技術と社会との関係について分析し評価する視座や方法論を身につける。	<p><u>教養セミナー I</u></p> <p><専門課程共通科目> <u>医療と AI・ビッグデータ応用（検査学のみ）</u>、<u>英語 II</u></p>
第3学年以降	仕上げる	教養卒論の執筆を通して、教養教育の集大成を目指す。自己問題提起・解決型の創造力を身につける。	<p>【検査技術学専攻・口腔保健学科】 <u>教養セミナー II</u>（第3学年）</p> <p>【看護学専攻】 <u>教養セミナー II</u>（第4学年）</p>

3) 国府台地区 コンピテンシー

教養教育の理念を実現するため、東京科学大学国府台地区では1~5の5つの力を学生に獲得させることを教育の理念として掲げています。

コンピテンシー		対応科目例(1年次)	対応科目例(2年次以降)
1. 市民社会の一員として、自己と他者を理解するための幅広い教養と感性			
1-1)	言語を通じた人間の創造的営みを理解する	哲学、文学、人文社会科学特論、第二外国語、教養選択科目	
1-2)	社会制度や仕組みについての基本を理解する	人文社会科学概論Ⅰ・Ⅱ、法学、政治学、社会学、社会思想史、文化人類学、人文社会科学特論	
1-3)	人間の歴史の営みを理解する	人文社会科学概論Ⅰ・Ⅱ、哲学、宗教学、歴史学、科学史、社会思想史、人文社会科学特論	
1-4)	異なる空間の文化を理解する	国際地域文化入門、宗教学、芸術、歴史学、文化人類学、民俗学、人文社会科学特論、第二外国語、グローバル教養科目、教養選択科目	
1-5)	人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る	哲学、倫理学、宗教学、法学、社会思想史、文化人類学、人文社会科学特論、教養選択科目	
1-6)	優れた芸術作品に触れて感性を高める	芸術、教養選択科目	
1-7)	人間の心への理解を深める	哲学、倫理学、心理学、芸術、歴史学、文学、文化人類学、人文社会科学特論、フィジカルウェルビーイング、フィットネスマネジメント、教養選択科目	
1-8)	自己の心と体を管理する能力を獲得する	人文社会科学概論Ⅱ、フィジカルウェルビーイング、フィットネスマネジメント、教養選択科目	
1-9)	市民としての倫理観を養う	倫理学、法学、社会思想史、文化人類学、人文社会科学特論	
1-10)	社会への責任を自覚する	倫理学、科学史、人文社会科学特論、立志プロジェクト	
2. 科学的な考え、理解し、自ら問題を発見し、自ら問題を解決し続ける能力			
2-1)	自然現象を科学的に探求するための方法論を知る	数学、統計学、物理学、化学、化学基礎、生物学基礎、フィジカルウェルビーイング、教養選択科目	
2-2)	科学的思考方法を学ぶ	自然科学実験、サイエンスPBL入門	
2-3)	言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る	文学、社会学、人文社会科学特論、統計学	
2-4)	自己問題提起・解決型の学習方法を身につける	立志プロジェクト、教養選択科目、サイエンスPBL入門、フィットネスマネジメント	教養セミナーⅠ、教養セミナーⅡ
2-5)	自らテーマを見つけ、調べ、発表させ、論文にまとめる能力を養う	教養基礎セミナー、教養選択科目	教養セミナーⅡ
3. 国際的な医療人として活躍するために必要なコミュニケーションの能力			
3-1)	国際的に活躍するための語学力を養う	英語Ⅰ、第二外国語	
3-2)	コミュニケーションスキルを獲得する	アカデミックリテラシー(専門科目)	教養セミナーⅡ
3-3)	チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける	立志プロジェクト、フィットネスマネジメント	教養自由セミナーⅠ、教養自由セミナーⅡ
3-4)	外国文化を理解する	国際地域文化入門、文化人類学、人文社会科学特論、グローバル教養科目、英語Ⅰ、第二外国語、教養選択科目	
3-5)	国際社会について理解する	国際地域文化入門、政治学、文化人類学、人文社会科学特論、グローバル教養科目、教養選択科目	
3-6)	日本の文化・社会を国際社会の中で理解し、発信できる力を身につける	Japanese Culture and Society、人文社会科学特論	
4. 専門教育に必要な基礎学力や思考力、技術			
4-1)	高校理科の補習	物理学入門、化学入門、生物学入門、化学基礎、生物学基礎	
4-2)	生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける	数学、物理学、化学、化学基礎、生物学、生物学基礎、フィジカルウェルビーイング	
4-3)	基礎学力の担保	自然科学実験、科学基礎実験、サイエンスPBL入門	
4-4)	情報についての基本技能を身につける	情報処理、情報科学、統計学、社会学	
4-5)	科学文献を読み、学芸発表ができる語力を身につける	英語Ⅰ	
5. 広く社会・人類に貢献するために必要なELSIについての理解と洞察			
5-1)	科学技術の倫理的・法的・社会的課題(ELSI)について理解する	教養基礎セミナー	教養セミナーⅠ、教養セミナーⅡ
5-2)	関心をもち、分析・評価するスキルを獲得する	ELSI分析・評価する視座・方法論を講義する	教養セミナーⅠ、教養セミナーⅡ、教養セミナーⅢ
5-3)	医療・研究現場におけるELSIについて分析・評価する実践力を獲得する	医療・研究現場におけるELSIについて分析・評価する実践力を獲得する	教養セミナーⅢ

2. 必修科目と選択科目

各学科の履修すべき科目や単位数について、詳しく解説をします。

最初に国府台地区、大岡山地区および湯島地区で履修すべき科目の一覧表を示します。全員が指定されたクラスで授業を受ける「必修科目」、ある科目群の中から指定された数の科目を選択して履修する「選択科目」があります。

1) 医学部医学科

授業科目名		開 講 学 期		単 位	備 考
		前期	後期		
必 修 科 目	数学Ⅰ	○		1	
	物理学Ⅰ	○		1	
	化学	○		2	
	生物学	○		2	
	サイエンスPBL入門		○	1.5	
	英語Ⅰ	○	○	6	
	人文社会科学概論Ⅰ	○		1	
	人文社会科学概論Ⅱ	○		1	
	国際地域文化入門	○		2	
	自然科学実験	○		2	
	情報処理	○		1	
	立志プロジェクト	○		2	
	教養基礎セミナー		○	2	
	教養選択科目 (S科目)	○	○	1	
選 択 科 目	物理学入門			1	いずれか1科目
	化学入門	○			
	生物学入門				
	数学Ⅱ			1	いずれか1科目
	物理学Ⅱ	○			
	人文科学・社会科学科目			6	いずれか3科目 (1科目2単位) ※日本語は留学生のみ
	フィジカルウェルビーイング				
	ドイツ語Ⅰ、ドイツ語Ⅱ	○			
フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ					
中国語Ⅰ、中国語Ⅱ					
スペイン語Ⅰ、スペイン語Ⅱ					
※日本語Ⅰ、日本語Ⅱ					
1年生必要単位数合計				33.5	
教養セミナーⅠ				1	
2年生必要単位数合計				1	
教養セミナーⅡ				1	
3年生必要単位数合計				1	
教養セミナーⅢ				1	
5年生必要単位数合計				1	
医学部医学科全学科共通科目必要単位数合計				36.5	

履修しなければならない科目は以下のとおりです。

カッコ内に（必修・選択・自由科目の別／開講時期）を示します。

<1年生>

- ① 物理学入門／化学入門／生物学入門（選択／前期）
物理学、化学、生物学のうち、入学試験で選択しなかった科目について必ず履修してください。
- ② 数学Ⅰ・数学Ⅱ・物理学Ⅰ・物理学Ⅱ・化学・生物学（必修・選択／前期）
いずれも自然系の基礎を固めるための必修科目（数学Ⅱ、物理学Ⅱは選択科目）です。
- ③ サイエンスPBL入門（必修／後期）
- ④ 自然科学実験（必修／前期）
- ⑤ 情報処理（必修／前期）
コンピュータを用いた情報処理の基礎を学びます。
- ⑥ 英語Ⅰ（必修／前・後期）
前期は週に2コマ、習熟度別にクラス分けを行いません。後期は週に1コマで選択制です。
- ⑦ 人文社会科学概論Ⅰ・Ⅱ（必修／前期）
- ⑧ 国際地域文化入門（必修／前期）
- ⑨ 立志プロジェクト（必修／前期）
- ⑩ 教養基礎セミナー（必修／後期）
- ⑪ 教養選択科目（S科目）（必修／前・後期）
各自の興味・関心に合わせて自由に選択できる科目です。1科目（1単位）以上を履修してください。
- ⑫ 人文科学・社会科学（選択／前期）
- ⑬ ドイツ語／フランス語／中国語／スペイン語／日本語（留学生のみ）（選択／前期）
第二外国語としてドイツ語（Ⅰ・Ⅱ）・フランス語（Ⅰ・Ⅱ）・中国語（Ⅰ・Ⅱ）・スペイン語（Ⅰ・Ⅱ）・日本語（Ⅰ・Ⅱ）（留学生のみ）を選択して履修します。そのうち、ドイツ語Ⅰ／フランス語Ⅰ／中国語Ⅰ／スペイン語Ⅰは必ず履修してください。さらに各自の興味に応じてドイツ語Ⅱ／フランス語Ⅱ／中国語Ⅱ／スペイン語Ⅱの選択が可能です。留学生の場合は、日本語Ⅰと日本語Ⅱを必ず履修してください。
- ⑭ フィジカルウェルビーイング（選択／前期）
選択科目⑫～⑭から3科目（6単位）を履修してください。そのうち、人文科学・社会科学科目から1科目（2単位）以上、外国語科目より1科目（2単位）以上を選択してください。

<2年生以降>

- ⑮ 教養セミナーⅠ・教養セミナーⅡ・教養セミナーⅢ（必修／2, 3, 5年生）
教養セミナーⅠでは、科学や医療と社会との関係について議論し、思考を深化させるべく、7～8人で構成されるセミナーにおいて ELSI に関連するテキストを精読し、クラスごとに発表を行います。教養セミナーⅡでは、教養教育での学びの成果を論文の執筆を通して結実させます。さらに教養セミナーⅢでは、医療に関わる実際のケースを取り上げることで、ELSI についてのより専門的な理解を目指します。
- ⑯ 教養自由セミナーⅠ・教養自由セミナーⅡ（自由科目／4, 6年生）
自由科目として開講される教養自由セミナーⅠ・Ⅱの履修者は、教養セミナーⅠの各クラスに学生チューターとして参加し、セミナーの進行をサポートします。

2) 歯学部歯学科

授業科目名		開 講 学 期		単 位	備 考
		前期	後期		
必 修 科 目	数学Ⅰ	○		1	
	物理学Ⅰ	○		1	
	化学	○		2	
	生物学	○		2	
	サイエンスPBL入門		○	1.5	
	英語Ⅰ	○	○	6	
	人文社会科学概論Ⅰ	○		1	
	人文社会科学概論Ⅱ	○		1	
	国際地域文化入門	○		2	
	自然科学実験	○		2	
	情報処理	○		1	
	立志プロジェクト	○		2	
	教養基礎セミナー		○	2	
	教養選択科目 (S科目)	○	○	1	
	選 択 科 目	物理学入門			1
化学入門		○			
生物学入門					
数学Ⅱ		○		1	いずれか1科目
物理学Ⅱ					
人文科学・社会科学科目		○		6	いずれか3科目 (1科目2単位) ※日本語は留学生のみ
フィジカルウェルビーイング					
ドイツ語Ⅰ、ドイツ語Ⅱ					
フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ					
中国語Ⅰ、中国語Ⅱ					
スペイン語Ⅰ、スペイン語Ⅱ					
※日本語Ⅰ、日本語Ⅱ					
1 年 生 必 要 単 位 数 合 計				33.5	
	教養セミナーⅠ			1	
2 年 生 必 要 単 位 数 合 計				1	
	教養セミナーⅡ			1	
3 年 生 必 要 単 位 数 合 計				1	
	教養セミナーⅢ			1	
5 年 生 必 要 単 位 数 合 計				1	
歯学部歯学科全学科共通科目必要単位数合計				36.5	

履修しなければならない科目は以下のとおりです。

カッコ内に（必修・選択・自由科目の別／開講時期）を示します。

< 1年生 >

- ① 物理学入門／化学入門／生物学入門（選択／前期）
物理学、化学、生物学のうち、入学試験で選択しなかった科目について必ず履修してください。
- ② 数学Ⅰ・数学Ⅱ・物理学Ⅰ・物理学Ⅱ・化学・生物学（必修・選択／前期）
いずれも自然系の基礎を固めるための必修科目（数学Ⅱ、物理学Ⅱは選択科目）です。
- ③ サイエンス PBL 入門（必修／後期）
- ④ 自然科学実験（必修／前期）
- ⑤ 情報処理（必修／前期）
コンピュータを用いた情報処理の基礎を学びます。
- ⑥ 英語Ⅰ（必修／前・後期）
前期は週に2コマ、習熟度別にクラス分けを行いません。後期は週に1コマで選択制です。
- ⑦ 人文社会科学概論Ⅰ・Ⅱ（必修／前期）
- ⑧ 国際地域文化入門（必修／前期）
- ⑨ 立志プロジェクト（必修／前期）
- ⑩ 教養基礎セミナー（必修／後期）
- ⑪ 教養選択科目（S科目）（必修／前・後期）
各自の興味・関心に合わせて自由に選択できる科目です。1科目（1単位）以上を履修してください。
- ⑫ 人文科学・社会科学（選択／前期）
- ⑬ ドイツ語／フランス語／中国語／スペイン語／日本語（留学生のみ）（選択／前期）
第二外国語としてドイツ語（Ⅰ・Ⅱ）・フランス語（Ⅰ・Ⅱ）・中国語（Ⅰ・Ⅱ）・スペイン語（Ⅰ・Ⅱ）・日本語（Ⅰ・Ⅱ）（留学生のみ）を選択して履修します。そのうち、ドイツ語Ⅰ／フランス語Ⅰ／中国語Ⅰ／スペイン語Ⅰは必ず履修してください。さらに各自の興味に応じてドイツ語Ⅱ／フランス語Ⅱ／中国語Ⅱ／スペイン語Ⅱの選択が可能です。留学生の場合は、日本語Ⅰと日本語Ⅱを必ず履修してください。
- ⑭ フィジカルウェルビーイング（選択／前期）
選択科目⑫～⑭から3科目（6単位）を履修してください。そのうち、人文科学・社会科学科目から1科目（2単位）以上、外国語科目より1科目（2単位）以上を選択してください。

< 2年生以降 >

- ⑮ 教養セミナーⅠ・教養セミナーⅡ・教養セミナーⅢ（必修／2, 3, 5年生）
教養セミナーⅠでは、科学や医療と社会との関係について議論し、思考を深化させるべく、7～8人で構成されるセミナーにおいて ELSI に関連するテキストを精読し、クラスごとに発表を行います。教養セミナーⅡでは、教養教育での学びの成果を論文の執筆を通して結実させます。さらに教養セミナーⅢでは、医療に関わる実際のケースを取り上げることで、ELSI についてのより専門的な理解を目指します。
- ⑯ 教養自由セミナーⅠ・教養自由セミナーⅡ（自由科目／4, 6年生）
自由科目として開講される教養自由セミナーⅠ・Ⅱの履修者は、教養セミナーⅠの各クラスに学生チューターとして参加し、セミナーの進行をサポートします。

3) 医学部保健衛生学科看護学専攻

授業科目名		開 講 学 期		単 位	備 考
		前期	後期		
必 修 科 目	統計学	○		1	
	化学基礎	○		1	
	生物学基礎	○		2	
	英語 I	○	○	6	
	人文社会科学概論 I	○		1	
	人文社会科学概論 II	○		1	
	国際地域文化入門	○		2	
	科学基礎実験	○		1	
	情報科学	○		1	
	立志プロジェクト	○		2	
	教養基礎セミナー		○	2	
	教養選択科目 (S科目)	○	○	1	
	選 択 科 目	人文科学・社会科学科目	○		
フィジカルウェルビーイング					
フィットネスマネジメント (看護学の み履修可)					
ドイツ語 I、ドイツ語 II					
フランス語 I、フランス語 II					
中国語 I、中国語 II					
スペイン語 I、スペイン語 II					
※日本語 I、日本語 II					
1 年 生 必 要 単 位 数 合 計				27	
	教養セミナー I			1	
2 年 生 必 要 単 位 数 合 計				1	
	教養セミナー II			1	
4 年 生 必 要 単 位 数 合 計				1	
医学部保健衛生学科看護学専攻全学科共通科目必要単位数合計				29	

履修しなければならない科目は以下のとおりです。

カッコ内に (必修・選択・自由科目の別/開講時期) を示します。

< 1 年生 >

- ① 科学基礎実験 (必修/前期)
物理学、化学および生物学の基礎的な実験および演習を行います。
- ② 統計学 (必修/前期)
- ③ 情報科学 (必修/前期)
- ④ 生物学基礎 (必修/前期)
- ⑤ 化学基礎 (必修/前期)
- ⑥ 英語 I (必修/前・後期)
前期は週に2コマ、習熟度別にクラス分けを行いません。後期は週に1コマで選択制です。
- ⑦ 人文社会科学概論 I・II (必修/前期)
- ⑧ 国際地域文化入門 (必修/前期)
- ⑨ 立志プロジェクト (必修/前期)
- ⑩ 教養基礎セミナー (必修/後期)

- ⑪ 教養選択科目 (S 科目) (必修/前・後期)
各自の興味・関心に合わせて自由に選択できる科目です。1 科目 (1 単位) 以上を履修してください。
- ⑫ 人文科学・社会科学 (選択/前期)
- ⑬ ドイツ語/フランス語/中国語/スペイン語/日本語 (留学生のみ) (選択/前期)
第二外国語としてドイツ語 (I・II)・フランス語 (I・II)・中国語 (I・II)・スペイン語 (I・II)・日本語 (I・II) (留学生のみ) を選択して履修します。そのうち、ドイツ語 I / フランス語 I / 中国語 I / スペイン語 I は必ず履修してください。さらに各自の興味に応じてドイツ語 II / フランス語 II / 中国語 II / スペイン語 II の選択が可能です。留学生の場合は、日本語 I と日本語 II を必ず履修してください。
- ⑭ フィジカルウェルビーイング (選択/前期)
- ⑮ フィットネスマネジメント (養護教諭の資格取得希望者のみ履修可) (選択/前期)
選択科目⑫~⑮から 3 科目 (6 単位) を履修してください。そのうち、人文科学・社会科学科目から 1 科目 (2 単位) 以上、外国語科目より 1 科目 (2 単位) 以上を選択してください。フィジカルウェルビーイングとフィットネスマネジメントはどちらか一方のみ履修可能です。また養護教員の資格取得を考えている人は下の留意事項をよく読むこと。

< 2 年生以降 >

⑯ 教養セミナー I・教養セミナー II (必修/2, 4 年生)

教養セミナー I では、科学や医療と社会との関係について議論し、思考を深化させるべく、7~8 人で構成されるセミナーにおいて ELSI に関連するテキストを精読し、クラスごとに発表を行います。教養セミナー II では、教養教育での学びの成果を論文の執筆を通して結実させます。

⑰ 教養自由セミナー I (自由科目/3 年生)

自由科目として開講される教養自由セミナー I の履修者は、教養セミナー I の各クラスに学生チューターとして参加し、セミナーの進行をサポートします。

・医学部保健衛生学科看護学専攻学生の科目受講に関する留意事項

保健師免許取得後の申請により、「養護教諭二種免許状」を取得することができます。養護教諭二種免許状取得に当たっては、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める「日本国憲法」、「体育」、「外国語コミュニケーション」、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作」の科目 (各 2 単位) を取得しておくことが必須です。

そのため、将来保健師免許による養護教諭二種免許状の取得を希望する学生は、免許状取得に必要な国府台地区の対応科目「フィジカルウェルビーイング」(2 単位) もしくは「フィットネスマネジメント」(2 単位) を履修し単位を修得しておくことが必要です。さらに看護学専攻の自由科目として開講される「憲法」(2 単位) を履修することが必要です。その他の科目に関しては、国府台地区または看護学専攻の必修科目に含まれているため、卒業時の単位を修得していれば、申請条件を満たします。

文部科学省令に定める科目 (養護教諭二種免許状取得に必要な科目)	本学の対応科目
「日本国憲法」(2 単位) 「体育」(2 単位)	「 <u>憲法</u> 」(2 単位) 「 <u>フィジカルウェルビーイング</u> 」(2 単位) もしくは「 <u>フィットネスマネジメント</u> 」(2 単位)
「外国語コミュニケーション」(2 単位) 「数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作」(2 単位)	「英語 I」(6 単位) 「情報科学」(1 単位) と「医療と AI・ビッグデータ入門」(2 単位)

4) 医学部保健衛生学科検査技術学専攻

授業科目名		開 講 学 期		単 位	備 考
		前期	後期		
必修科目	数学Ⅰ	○		1	
	統計学	○		1	
	物理学Ⅰ	○		1	
	物理学Ⅱ	○		1	
	化学	○		2	
	生物学	○		2	
	英語Ⅰ	○	○	6	
	人文社会科学概論Ⅰ	○		1	
	人文社会科学概論Ⅱ	○		1	
	国際地域文化入門	○		2	
	科学基礎実験	○	○	1	
	情報科学	○		1	
	立志プロジェクト	○		2	
	教養基礎セミナー		○	2	
	教養選択科目 (S科目)	○	○	1	
	選択科目	物理学入門	○		1
化学入門					
生物学入門					
人文科学・社会科学科目		○		6	いずれか3科目 (1科目2単位) ※日本語は留学生のみ
フィジカルウェルビーイング					
ドイツ語Ⅰ、ドイツ語Ⅱ					
フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ					
中国語Ⅰ、中国語Ⅱ					
スペイン語Ⅰ、スペイン語Ⅱ					
※日本語Ⅰ、日本語Ⅱ					
1年生必要単位数合計				32	
	教養セミナーⅠ			1	
2年生必要単位数合計				1	
	教養セミナーⅡ			1	
3年生必要単位数合計				1	
医学部保健衛生学科検査技術学専攻全学科共通科目必要単位数合計				34	

履修しなければならない科目は以下のとおりです。

カッコ内に（必修・選択・自由科目の別／開講時期）を示します。

<1年生>

- ① 物理学入門／化学入門／生物学入門（選択／前期）
物理学、化学、生物学のうち、入学試験で選択しなかった科目（推薦入試合格者は、高校で履修しなかった科目）を必ず履修してください。
- ② 物理学Ⅰ・物理学Ⅱ・化学・生物学（必修／前期）
いずれも自然系の基礎を固めるための必修科目です。
- ③ 科学基礎実験（必修／通年）
物理学、化学および生物学の基礎的な実験を行います。
- ④ 統計学（必修／後期）
- ⑤ 情報科学（必修／前期）
- ⑥ 数学Ⅰ（必修／前期）
- ⑦ 英語Ⅰ（必修／前・後期）
前期は週に2コマ、習熟度別にクラス分けを行いません。後期は週に1コマで選択制です。
- ⑧ 人文社会科学概論Ⅰ・Ⅱ（必修／前期）
- ⑨ 国際地域文化入門（必修／前期）
- ⑩ 立志プロジェクト（必修／前期）
- ⑪ 教養基礎セミナー（必修／後期）
- ⑫ 教養選択科目（S科目）（必修／前・後期）
各自の興味・関心に合わせて自由に選択できる科目です。1科目（1単位）以上を履修してください。
- ⑬ 人文科学・社会科学（選択／前期）
- ⑭ ドイツ語／フランス語／中国語／スペイン語／日本語（留学生のみ）（選択／前期）
第二外国語としてドイツ語（Ⅰ・Ⅱ）・フランス語（Ⅰ・Ⅱ）・中国語（Ⅰ・Ⅱ）・スペイン語（Ⅰ・Ⅱ）・日本語（Ⅰ・Ⅱ）（留学生のみ）を選択して履修します。そのうち、ドイツ語Ⅰ／フランス語Ⅰ／中国語Ⅰ／スペイン語Ⅰは必ず履修してください。さらに各自の興味に応じてドイツ語Ⅱ／フランス語Ⅱ／中国語Ⅱ／スペイン語Ⅱの選択が可能です。留学生の場合は、日本語Ⅰと日本語Ⅱを必ず履修してください。
- ⑮ フィジカルウェルビーイング（選択／前期）
選択科目⑬～⑮から3科目（6単位）を履修してください。そのうち、人文科学・社会科学科目から1科目（2単位）以上、外国語科目より1科目（2単位）以上を選択してください。

<2年生以降>

- ⑯ 教養セミナーⅠ・教養セミナーⅡ（必修／2, 3年生）
教養セミナーⅠでは、科学や医療と社会との関係について議論し、思考を深化させるべく、7～8人で構成されるセミナーにおいて ELSI に関連するテキストを精読し、クラスごとに発表を行います。教養セミナーⅡでは、教養教育での学びの成果を論文の執筆を通して結実させます。
- ⑰ 教養自由セミナーⅠ（自由科目／4年生）
自由科目として開講される教養自由セミナーⅠの履修者は、教養セミナーⅠの各クラスに学生チューターとして参加し、セミナーの進行をサポートします。

5) 歯学部口腔保健学科

授業科目名		開 講 学 期		単 位	備 考
		前期	後期		
必 修 科 目	統計学	○		1	
	化学基礎	○		1	
	生物学基礎	○		2	
	英語 I	○	○	6	
	人文社会科学概論 I	○		1	
	人文社会科学概論 II	○		1	
	国際地域文化入門	○		2	
	科学基礎実験	○		1	
	情報科学	○		1	
	立志プロジェクト	○		2	
	教養基礎セミナー		○	2	
	教養選択科目 (S科目)	○	○	1	
選 択 科 目	人文科学・社会科学科目	○		6	いずれか3科目 (1科目2単位) ※日本語は留学生のみ
	フィジカルウェルビーイング				
	ドイツ語 I、ドイツ語 II				
	フランス語 I、フランス語 II				
	中国語 I、中国語 II				
	スペイン語 I、スペイン語 II				
	※日本語 I、日本語 II				
1 年 生 必 要 単 位 数 合 計				27	
教養セミナー I				1	
2 年 生 必 要 単 位 数 合 計				1	
教養セミナー II				1	
4 年 生 必 要 単 位 数 合 計				1	
歯学部口腔保健学科全学科共通科目必要単位数合計				29	

履修しなければならない科目は以下のとおりです。

カッコ内に（必修・選択・自由科目の別／開講時期）を示します。

< 1 年生 >

- ① 科学基礎実験（必修／前期）
物理学、化学および生物学の基礎的な実験および演習を行います。
- ② 統計学（必修／前期）
- ③ 情報科学（必修／前期）
- ④ 生物学基礎（必修／前期）
- ⑤ 化学基礎（必修／前期）
- ⑥ 英語 I（必修／前・後期）
前期は週に 2 コマ、習熟度別にクラス分けを行ないます。後期は週に 1 コマで選択制です。
- ⑦ 人文社会科学概論 I・II（必修／前期）
- ⑧ 国際地域文化入門（必修／前期）
- ⑨ 立志プロジェクト（必修／前期）
- ⑩ 教養基礎セミナー（必修／後期）
- ⑪ 教養選択科目（S 科目）（必修／前・後期）
各自の興味・関心に合わせて自由に選択できる科目です。1 科目（1 単位）以上を履修してください。
- ⑫ 人文科学・社会科学（選択／前期）
- ⑬ ドイツ語／フランス語／中国語／スペイン語／日本語（留学生のみ）（選択／前期）
第二外国語としてドイツ語（I・II）・フランス語（I・II）・中国語（I・II）・スペイン語（I・II）・日本語（I・II）（留学生のみ）を選択して履修します。そのうち、ドイツ語 I／フランス語 I／中国語 I／スペイン語 I は必ず履修してください。さらに各自の興味に応じてドイツ語 II／フランス語 II／中国語 II／スペイン語 II の選択が可能です。留学生の場合は、日本語 I と日本語 II を必ず履修してください。
- ⑭ フィジカルウェルビーイング（選択／前期）
選択科目⑫～⑭から 3 科目（6 単位）を履修してください。そのうち、人文科学・社会科学科目から 1 科目（2 単位）以上、外国語科目より 1 科目（2 単位）以上を選択してください。

< 2 年生以降 >

- ⑮ 教養セミナー I・教養セミナー II（必修／2, 3 年生）
教養セミナー I では、科学や医療と社会との関係について議論し、思考を深化させるべく、7～8 人で構成されるセミナーにおいて ELSI に関連するテキストを精読し、クラスごとに発表を行います。教養セミナー II では、教養教育での学びの成果を論文の執筆を通して結実させます。
- ⑯ 教養自由セミナー I（自由科目／4 年生）
自由科目として開講される教養自由セミナー I の履修者は、教養セミナー I の各クラスに学生チューターとして参加し、セミナーの進行をサポートします。

3. 各科目の履修手続きについて

第1学年

1) 人文科学・社会科学科目の選択と履修手続きについて

人文科学・社会科学科目は、前期のうちに必修科目(人文社会科学概論Ⅰ・Ⅱと国際地域文化入門)の4単位に加え、人文社会科学・第二外国語・フィジカルウェルビーイングの選択科目群から人文科学・社会科学科目を1科目・2単位以上を履修する必要があります。

選択科目の履修に関して、まず、シラバスに掲載された人文科学・社会科学科目の科目紹介をよく読んで上で、初回の授業(お試し授業)を受講して履修したい科目を選びます。その後、Web上で希望科目を提出します。

各科目には、履修可能な人数に対する制限があります。人数制限を超えた科目については、抽選を行います。抽選の結果、確定した履修科目をweb上で発表しますので、各自確認のうえ、授業に出席してください。

いったん履修登録をした科目は、最後まで責任をもって単位取得に努めてください。やむを得ない事情により履修ができなくなった場合、抽選を実施していない科目のみ履修の取消が可能です。履修取消期間に申請すれば、登録抹消ができ、総登録単位数から除かれます。詳しくは、「5) 履修取消について」を読んでください。なお、取消が認められないにもかかわらず、授業に出席しなかった場合は0点となります。

2) 外国語科目のクラス分けと履修手続きについて

外国語の授業は、他の授業とは別に編成したクラスで行います。自分のクラスを掲示等でよく確認して下さい。

英語(前期)の授業は、学科横断型のクラス(水曜日1講もしくは2講、木曜日1講もしくは2講に開講)で行います。英語のクラス分けは、初回授業前日までに発表します。各自確認して、指定された教室で授業を受けてください。

後期の英語科目は選択制です。水曜日1講もしくは2講に開講します。履修希望の提出時期や方法については、7月に発表します。

第二外国語について、木曜日3講、または4講のクラスは入学手続き時に提出された希望に基づいてクラス分けを行います。ただし、人数の都合により、必ずしも第一希望に添えない場合があります。クラス分けの結果は、初回授業の前日までに発表しますので、掲示等で確認して下さい。

金曜日3講、または4講のクラスは、Web方式等で履修希望を提出してもらいます。人数制限を超えた場合は抽選を行います。

3) 自然科学科目のクラス分けと履修手続きについて

自然科学科目では、入試における選択科目や入学時のプレイスメントテスト等によって、クラス分けを行う科目があります。

医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻対象の「生物学/化学/物理学入門」はそれぞれ入試で選択しなかった受験科目(医学科・歯学科の特別選抜Ⅰ[国際バカロレア選抜]および保健衛生学科検査技術学専攻の特別選抜Ⅰの合格者は、高校で履修しなかった科目)に対応する授業科目を必ず履修して下さい。

医学科、歯学科の「数学Ⅱ」、「物理学Ⅱ」は選択科目です。前期中に希望調査等を行います。検査技術学専攻は「物理学Ⅱ」が必修です。

詳細については、Ⅲ-1. 2) 自然科学のページを参照して下さい。

4) 教養選択科目の選択と履修手続きについて

教養選択科目は、講義、セミナー（原書・論文講読を含む）、実験と授業形態は様々です。各自の興味、関心に合わせて科目を選び、1科目（1単位）以上を履修してください。

- 受講資格を確認のうえ選択してください。
- 各科目には、履修可能な人数（募集人数）に制限があります。
- 希望者数が募集人数を上回った科目については、抽選で履修者を決定します。
- 各科目の科目概要の動画（オンデマンド配信）を視聴し、希望する科目の履修申請を行ってください。（教養選択科目の履修申請および履修者の決定は授業開始の事前に行います。）
- 教養選択科目の履修申請は、Web方式等により決められた期間内に送信してください。履修申請提出期間が他の科目とは異なりますので、別途掲示します。Web方式等による履修登録が確認できない場合、原則として当該科目を履修できません。
- 募集人数に満たない科目は、一次申請での履修者決定後に追加の受講者を募ります。最初に希望した科目を履修できなかった場合は、それらの科目から選択して申請することができます。

5) 履修取消について

履修登録した科目のうち、やむを得ない事情により履修ができなくなった場合には、取消を許可する科目があります。履修取消期間に申請すれば、登録抹消ができ、総登録単位数から除かれます。

ただし、履修取消を認めるか認めないかは科目によって異なりますので、担当の先生に確認した上で、履修取り消しの手続きを行ってください。

申請の用紙は国府台教務グループにありますので、申請書に必要事項を記載の上、提出して下さい。

履修取消期間については別途掲示します。

6) 試験と成績評価について

各学期末に定期試験を実施し、その成績を基に科目の単位認定を行います。ただし科目によっては定期試験の成績だけでなく平常点が加味される場合や定期試験に替えてレポート・その他の課題が課される場合があります。いずれも担当教員の指示に従ってください。試験と成績評価に関するルールについては、規則を参照してください。ここでは、特に留意する点を列記します。

- 後期までに必要単位数を修得できなかった場合は、留年となります。
- 単位不足のまま専門科目を履修する仮進級の制度はありません。
- 試験の成績評価については、「東京科学大学学修規程」を参照してください。（59点以下は、不合格です。）
- 59点以下となった科目の単位を修得するためには、原則としてその科目を再履修する必要があります。再履修については、担当教員の指示に従ってください。
- 最終学期後に総合成績を通知します。前期・後期を通して行われる科目は、通常前期にも定期試験を行いますが、その成績は教員の手元で管理され、後期の定期試験後に総合成績が出ます。なお、前期の定期試験を行わない科目もあります。
- 科目の後にアルファベットがついている科目（英語Ⅰ）では、アルファベットがついているすべての授業の総合成績によってその科目全体の成績判定が行われます。英語ⅠA・B・Cは、3つの成績の総合で英語Ⅰ（6単位）という1つの科目の単位が認定されます。
- 病気や事故などで定期試験を受けられなかった人は、試験申請書を提出することができます。詳細は「東京科学大学の学部における学修に関する細則」を参照してください。

7) 学力認定試験について

医学科、歯学科および検査技術学専攻の学生は前期定期試験期間において生物学の学力認定試験を実施します。この試験は、基本的な学力が身についているかどうかを評価する試験です。

試験範囲の予定

細胞、遺伝子、構造、機能、生物学実験

試験範囲の詳細については追ってお知らせします。

8) GP (Grade Point) について

「東京科学大学学修規程」を参照してください。

4. 教養セミナーについて

【概要】

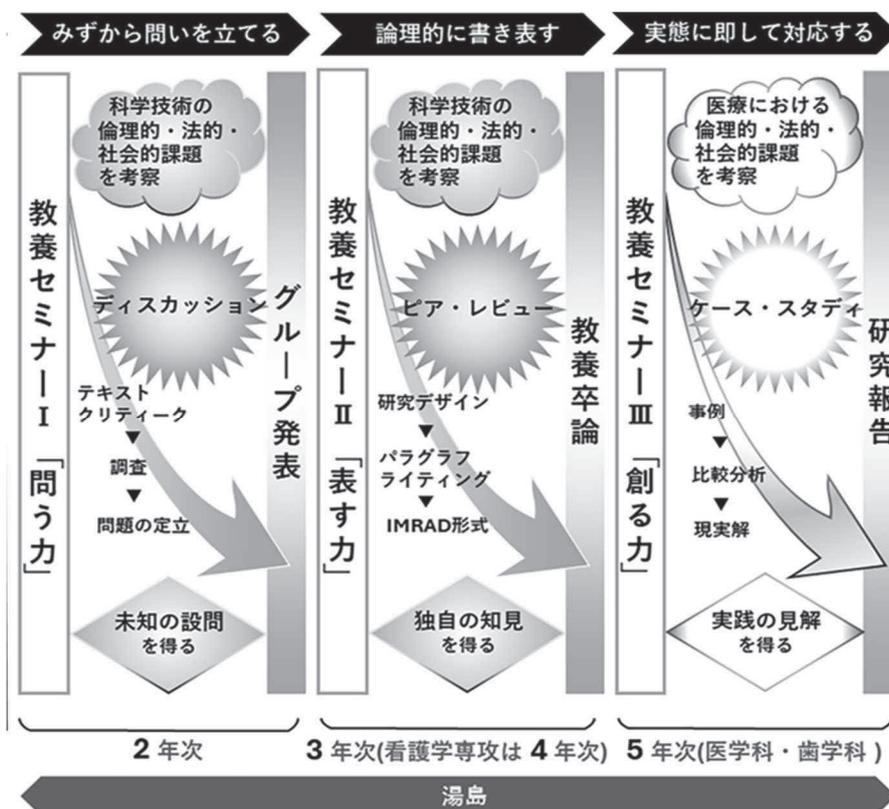
教養セミナーは、教育理念に明記された本学の使命、すなわち「科学の力で、地球と宇宙の根源的な問題から、人類と社会・環境に差し迫った様々な課題までの解決に挑む、大志を抱いた卒業生・修了生を世界の隅々にまで届ける」ために必要不可欠な授業として実施されます。皆さんが将来、挑戦することを求められる「地球と宇宙の根源的な問題」や「人類と社会・環境に差し迫った様々な課題」とは何か。さらには、それらの「解決」とは一体何を意味するのか。教養セミナーでは、こうした問いについて、哲学や心理学などの人文科学、法学や経済学などの社会科学、そして自然科学の様々な視座から検討します。

新型コロナウイルス感染症のグローバルな流行を例にとりましょう。2020年に日本でも最初の感染者が報告されて以来、この出来事は、科学や医療と現代社会との密接かつ一筋縄ではいかない関係を可視化しました。未知のウイルスによる感染症が、医療供給体制をひっ迫させ、経済を停滞させ、家庭や学校での生活の質を劣化させ、人びとの行動様式だけでなく価値観にまで大きな変化をもたらしました。また、私たちの社会に蔓延する、科学や医療の専門家に対する不信や、ワクチンなどの医療技術への反発も露見させました。こうした経験を振り返るなら、科学的事実にもとづく医療をとおして社会と人類に貢献するためには、何が必要なのかが見えてきます。それは、科学・医療と社会との関係に対する深い理解であり、その理解を媒介にした科学・医療界と社会との真摯なコミュニケーションです。皆さんにとって教養セミナーが、こうしたコミュニケーションの土台作りとなることを期待しています。

教養セミナーには次のような特徴があります。(1)2年次以降の専門課程で実施されること。(2)全学科専攻の混成クラスに屋根瓦方式を採用した、7～8名の少人数セミナー形式を基本とすること。(3)科学や医療、その技術が私たちの暮らす社会に及ぼす様々な影響、さらにそこから生じる倫理的、法的そして社会的な課題 (ELSI : Ethical, Legal and Social Issues)の考察を中心的な学習テーマとすること。

これらの特徴を持つ教養セミナーを通して、私たちの時代が抱える課題について仲間たちと考え議論し、最終的に、その成果を論文にしてもらいます。

【教養セミナーの全体像】



【各セミナーについて】

・教養セミナーI「問う力」(2年次)

水曜日の午後、湯島キャンパスで開講される教養セミナーIでは、7~8人で構成されるセミナーにおいて科学技術と社会との関係について考え、議論することで、「みずから問う力」を育みます。

教養セミナーIは、テキスト・クリティークとグループワークという2つの柱から構成されます。テキスト・クリティークは、指定されたテキストを緻密に読解し、内容を正確に把握したり、批判的に検討したりする作業を指します。それは、担当者が行うプレゼンテーションによって進められます。テキスト・クリティークを通して、科学技術が現代の私たちに提起する倫理的・法的・社会的課題について議論し、理解を深めます。次に、テキスト・クリティークの成果を元にして、グループワークを行います。具体的には、各クラスで取り扱う科学技術の倫理的・法的・社会的課題を設定し、それについてリサーチをし、成果を発表会で発表してもらいます。このセミナーで培った知識や関心を発展させて、3年次の論文執筆に向かいます。

・教養セミナーII「表す力」(3年次/看護学専攻のみ4年次)

火曜日の午後、湯島キャンパスで開講される教養セミナーIIでは、「論理的に書き表す力」を涵養するべく、「教養卒論」を作成します。

7~8人で構成されるセミナーでは、事前に与えられた課題について各自が発表し、学生同士で質疑応

答(ピアレビュー)を行い、教員からの論文執筆に向けたコメントをもらいます。また、授業外では、オンデマンド教材で論文の執筆方法などを自習し、次回のセミナーに向けた発表の準備と論文の執筆を進めます。セミナーの最終回では、「教養卒論発表会」を開催します。さらに、「医歯学系優秀論文」と「理工学系優秀論文」を発表する「教養卒論合同発表会」を大岡山キャンパスで開催します。

教養セミナーⅡで執筆される「教養卒論」は、教養教育の集大成となります。

・教養セミナーⅢ(5年次医学科・歯学科)

薬害や再生医療などの具体的なケースを教材として、生命倫理や研究倫理、さらに医療技術をめぐる倫理的・法的・社会的課題について、より専門的で実際的な視座から掘り下げて考察することが、教養セミナーⅢの目的です。

セミナーとオンデマンド非同期型授業を併用した形式で実施することが予定されています。

・教養自由セミナーⅠ(4年次/看護学専攻のみ3年次)

自由科目として開講される教養自由セミナーⅠの履修者は、教養セミナーⅠの各クラスに学生チューターとして参加します。教員と共にセミナーの指導を行うことで、ファシリテーションやリーダーシップのスキルを磨きます。

・教養自由セミナーⅡ(6年次医学科・歯学科)

自由科目として開講される教養自由セミナーⅡの履修者は、教養セミナーⅠの各クラスに学生チューターとして参加します。教員と共にセミナーの指導を行うことで、ファシリテーションやリーダーシップのスキルを磨きます。

5. 大岡山 Day について

【概要】

東京医科歯科大学と東京工業大学という歴史ある二つの大学は 2024 年 10 月に統合し、東京科学大学 (Science Tokyo) として新たなスタートを切りました。このスタートと歩を合わせ、「立志プロジェクト」と「人文社会科学概論Ⅰ 知への扉」という二つの授業が立案され、すべての新一年生が大岡山キャンパスに集って共修する「大岡山 Day」が始まりました。「立志プロジェクト」は東京科学大学のすべての新一年生の必修科目であり、第一クォーターの毎週月曜 (3-4 限あるいは 5-6 限) に行われるクラス内での少人数ディスカッションと、同クォーターの毎週木曜に視聴するオンデマンド講義から構成されます。「人文社会科学概論Ⅰ 知への扉」は医歯学系学生の必修科目ですが、理工学系学生も受講可能です。第一クォーターの毎週月曜 (7-8 限) に講義形式で実施されます。

(注) 医歯学系は Semester 制、理工学系はクォーター制で授業が実施されます。大岡山 Day は理工学系の第一クォーターに実施されます。

【目的】

専門分野や将来の進路を異にする東京科学大学のすべての新一年生が、第一クォーターの毎週月曜に大岡山キャンパスで共修することにより、1) 様々なテーマについて異なる立場や視点から対話を重ね、新たな気づきや刺激を得ること、2) 大学・人間社会が持つ多様性への認識を深めること、を目的としています。また医歯学系の学生と理工学系の学生が同じ教室のなかで共に学び考えながら相互の関係を構築していくことで、課外活動も含めた交流を促進し、教育におけるシナジー効果を創出することもねらいの一つです。晴れて新しい東京科学大学の一員となる皆さんには、ぜひ積極的に多くの学生と対話・交流し、自らの奥行きを深め、より遠くまで見渡す広い視野を得てほしいと願っています。

【立志プロジェクト】

2011 年度から 2024 年度まで東京医科歯科大学で実施されてきた教養部基幹科目である「グローバル教養総合講座」のエッセンスを取り入れつつ、2016 年度から 24 年度まで東京工業大学で実施されてきた教養コア学修科目である「東工大立志プロジェクト」をベースとして、2025 年度から新たな「立志プロジェクト」を開始しました。

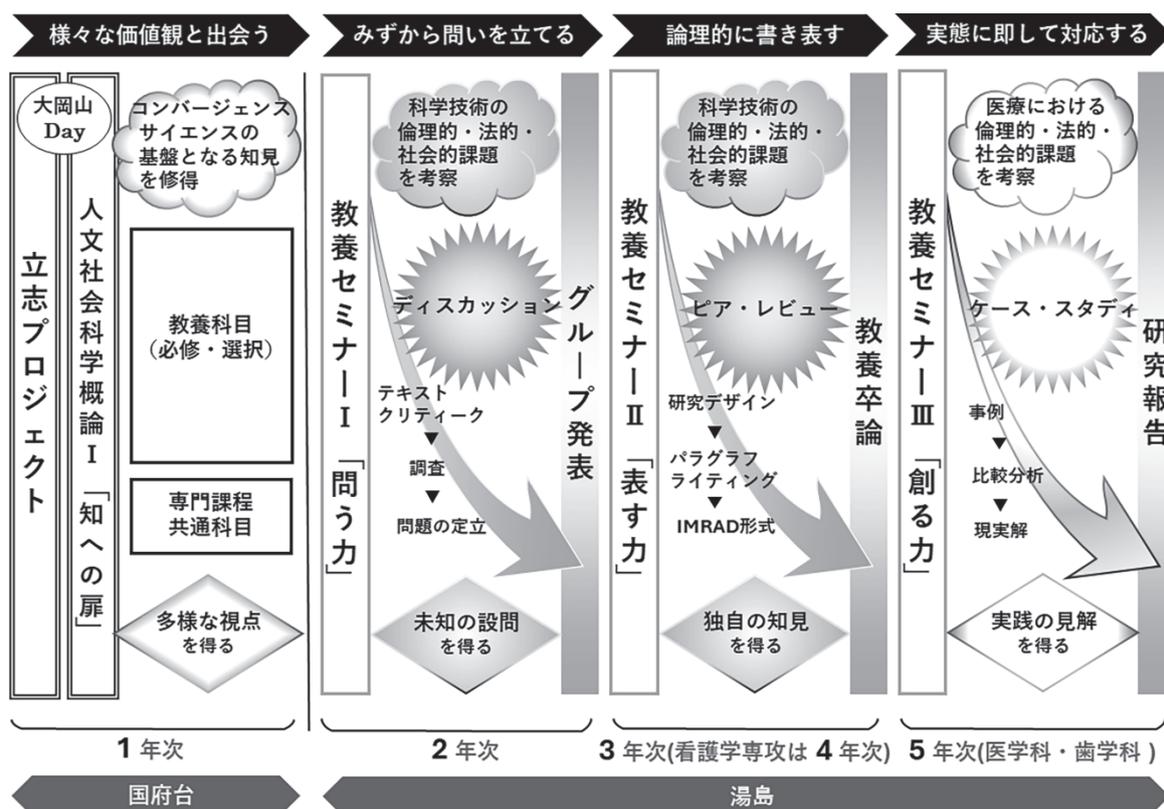
毎週木曜のオンデマンド講義では、社会の第一線で活躍する講演者・パネリストによる講義を視聴します。そしてその内容に関わる自らの理解・解釈・意見をまとめたうえで、翌週月曜の少人数グループディスカッションに参加し、各々の理解を共有し、深めます。こうして少人数での対話と講義との間を往還することで、自らのうちにある考えを静かに捉え直し、改めて他者の考えを咀嚼し自らの素地の上に重ねることで、自分の思考の在り方そのものを相対化し研磨してほしいと思います。また、文献からのインプットを活用した他者との対話、少人数グループでの協働作業を重ねることで、読み・書き・話し・聴く力を鍛えながら、多様な個によって構成される広い世界への理解を深め、そのなかでの自らの志を形にして発信できるようになってほしいと思います。

【人文社会科学概論Ⅰ 知への扉】

医歯学系（国府台）に加えて理工学系（大岡山）の教員も参加して、人文社会科学の第一線における、多彩な理論や思想を講義します。

この講義の目的は、1) 人文社会科学の諸領域における現代社会の問題に接し、多彩な知見を得ること、2) 人文社会科学の基本的な概念とタームを理解し、人と社会が関わる問題を考える能力を身につけること、3) 理工学、医歯学に援用しうる人文社会科学の方法論を修得し、コンバージェンス・サイエンスの基盤を形成することです。

全7回に渡り、政治学、哲学、文学、歴史社会学、文化人類学、人文社会情報学などの諸領域における興味深いテーマを学ぶことにより、人と社会の関わりを考えるための「知」の基盤を築きます。



大岡山 Day 講義棟一覧



大岡山キャンパス マップ

<https://www.ssc.titech.ac.jp/amap/home/ookayama/>



2026 立志プロジェクト教室一覧

クラス	ユニット	担当者	教室	建物名	フロア
1	U41, U42	岡田 佐織	M-356	大岡山本館	3階
2	U43, U44	調 麻佐志	M-B43	大岡山本館	地下1階
3	U45, U46	永岑 光恵	W9-714	大岡山西9号館	7階
4	U47, U48	柳瀬 博一	S3-215	大岡山南3号館	2階
5	U49, U50	治部 れんげ	W9-716	大岡山西9号館	7階
6	U51, U52	金子 宏直	W9-706	大岡山西9号館	7階
7	U53, U54	猪原 健弘	S4-202	大岡山南4号館	2階
8	U55, U56	山本 貴光	M-155	大岡山本館	1階
9	U57, U58	伊藤 亜紗	M-B45	大岡山本館	地下1階
10	U59, U60	渡辺 暁	W3-201	大岡山西3号館	2階
11	U61, U62	谷岡 健彦	W2-402	大岡山西2号館	4階
12	U63, U64	山崎 太郎	W3-707	大岡山西3号館	7階
13	U65, U66	高橋 将記	I3-107	石川台3号館	1階
14	U67, U68	駒田 陽子	S3-206	大岡山南3号館	2階
15	U69, U70	三ツ堀 広一郎	S3-207	大岡山南3号館	2階
16	U71, U72	中山 まどか	W9-325	大岡山西9号館	3階
17	U73, U74	猪熊 恵子	W9-201	大岡山西9号館	2階
18	U75, U76	奈良 雅之	W9-322	大岡山西9号館	3階
19	U77, U78	高木 佳奈	W9-323	大岡山西9号館	3階
20	U79, U80	檜枝 光憲・騎馬 秀太	W9-326	大岡山西9号館	3階
21	U01, U02	鈴木 健雄	I3-107	石川台3号館	1階
22	U03, U04	磯崎 憲一郎	M-356	大岡山本館	3階
23	U05, U06	水野 智美	M-B43	大岡山本館	地下1階
24	U07, U08	小暮 憲吾	S4-202	大岡山南4号館	2階
25	U09, U10	磯野 真穂	W9-325	大岡山西9号館	3階
26	U11, U12	多久和 理実	W9-716	大岡山西9号館	7階
27	U13, U14	有菌 真代	W9-706	大岡山西9号館	7階
28	U15, U16	畑中 健二	W9-326	大岡山西9号館	3階
29	U17, U18	薩摩 竜郎	W3-201	大岡山西3号館	2階
30	U19, U20	河村 彩	W3-707	大岡山西3号館	7階
31	U21, U22	安徳 万貴子	W2-402	大岡山西2号館	4階
32	U23, U24	佐久間 邦弘	S3-206	大岡山南3号館	2階
33	U25, U26	眞嶋 俊造	W9-714	大岡山西9号館	7階
34	U27, U28	佐々木 藍子	M-155	大岡山本館	1階
35	U29, U30	稲葉 利江子	S3-207	大岡山南3号館	2階
36	U31, U32	若松 史恵	M-B45	大岡山本館	地下1階
37	U33, U34	木村 優里	S3-215	大岡山南3号館	2階
38	U35, U36	中林 潤	W9-322	大岡山西9号館	3階
39	U37, U38	藤井 俊吾	W9-201	大岡山西9号館	2階
40	U39, U40	松本 幸久	W9-323	大岡山西9号館	3階
41		赤羽 et al.	I6-404	石川台6号館	4階

※人文社会科学概論I は70周年記念講堂で行われます。

※各教室へのアクセスはこちら→



Ⅲ. 開講科目の概要

1. 必修・選択科目

1) 人文科学・社会科学

【指針】

人文科学・社会科学分野の科目は、学んだ「効果」がすぐにあらわれるとは限らないものです。むしろ10年後、20年後になってようやく、しかも自分ではそうとは気づかない形で、効果をあらわすことの方がふつうだと言ってもいいでしょう。それは人文科学・社会科学という学問が、たんに知識を増やすことだけでなく、ものごとの見方・考え方までも問いなおすことを追求するものだからです。人文科学・社会科学にふれて、そうした「問いなおし」を経験することで、やがて自分でもそうすることができるようになったひとは、自分のものごとの見方・考え方をつねに新たにし、深めてゆく可能性が開かれることでしょう。また、ひとはそのようにして「成熟」してゆくのだとすれば、いま・ここで人文科学・社会科学を学ぶことの意味と効果は、来るべき成熟にこそ求められることとなります。そしてこのことは、医療人としての学びにも深くかかわってきます。

よき医療人に専門知識は必須です。ひととしての成熟も必須です。もちろん年齢のことではありません。いわば医療それ自体が、その知識と実践の担い手に、「成熟したひと」となることを求めるのです。知識には一般性があり、そうであるからこそ誰にでも伝達ができ、誰でも身につけることができます。けれどもそのことは、知識を目の前の対象に「正しく」「適切に」「ふさわしく」適用する方法にまで一般性があることを意味しません。このことはとりわけ医療にあてはまります。目の前の患者の身体には個別性・特殊性があります。その身体が負う病や障がいも同様です。患者の人生はどれもユニークであり、喜びも幸せも、悲しみもつらさも、一人ひとり異なります。そのような個別性・特殊性を前にして、またかけがえのなさを前にして、自分の知識をどのように適用すればよいのか、するべきなのか。マニュアルなどありません。それでもその問いに「正しく」「適切に」「ふさわしく」答えなければならないとしたら――。

さらに、科学研究のされ方や科学者の社会的な位置づけが時代によって変わってきたように、医療にも、それを支える専門的な知識にも、歴史と文化が刻印されています。そして、医療も医歯学の研究も社会の中で、法の下に行われているのですから、社会や法のありようと無縁ではありえません。言うまでもなく、医療も医歯学の研究も「患者を助きたい」という善意にもとづいていること、またそうして実際にも成果をあげていることは、誰しもが認めるところです。けれども、医療や医歯学の研究と、歴史や文化、社会、法との間には深い結びつきがあり、相互に影響を与えあっていることを忘れてしまうなら、つまり、「患者を助きたい」という善意さえあれば大丈夫、すべてうまくゆくと考えるなら、近現代の科学史・医学史が教えるように、その善意が「独善」ともなり、成果が患者のいのちと尊厳を損なう「惨禍」ともなる事態を、期せずして再び招くことになりかねないでしょう。

よき医療人としてこうした問いに答え、患者のいのちに寄り添い、その尊厳を守ることができるようになるには、専門知識は必要条件ですが、けっして十分条件ではありません。皆さんが医療人になることを目指してからこれまでに、こうした問いや視点にふれる機会がどれほどあったのかわかりませんが、いずれにしてもこれからは、新たな学びを始めてもらわなければなりません。それは10年後、20年後の来るべき成熟のためであり、いま人間について、また歴史や文化、社会、法について学ぶのもそのためです。たとえいまは医療と関係ないように思われても、そうして学んだことの意味と効果は、各人の学びの深さに応じて、その先の医療人への／としての歩みの中で明らかとなるでしょう。その未来の自分のために、人文科学・社会科学という学問の扉を、まずは虚心にたたいてほしいと思います。

※2年次以降の人文科学・社会科学について

2年次以降の専門課程では、人文科学・社会科学に関連する内容を「教養セミナー」において学ぶことができます。

2年次には、全学科専攻を対象とする「教養セミナーⅠ」が開講され、「問う力」を涵養するべく「科学技術の倫理的・法的・社会的課題」(ELSI)について議論し、考えます。3年次には、全学科専攻を対象とする「教養セミナーⅡ」が開講されます。そこでは、教養教育の総まとめとして「教養卒論」を執筆することで、「表す力」の獲得を目指します。さらに、医学科・歯学科においては5年次に「教養セミナーⅢ」が開講され、より専門的で実践的な視点から「科学技術の倫理的・法的・社会的課題」について考察しま

す。また、自由科目として4年次には「教養自由セミナーⅠ」、6年次には「教養自由セミナーⅡ」が開講され、学生チューターとして教員と共に後輩たちの指導に当たります。

詳細については、『履修の手引き』の「Ⅱ-4. 教養セミナー」をご覧ください。

【開講科目一覧】

哲学
倫理学
心理学
宗教学
芸術
歴史学
科学史
文学
法学
政治学
経済学
社会学
社会思想史
文化人類学
Japanese Culture and Society
グローバル教養科目
人文社会科学特論
国際地域文化入門
人文社会科学概論Ⅰ(大岡山キャンパス)
人文社会科学概論Ⅱ(国府台キャンパス)
教養基礎セミナー

2) 自然科学

【指針】

自然科学系の科目は、人文科学・社会科学系と異なり「自然」を理解しようとする学問です。理解しようとする対象によって、物理学、化学、生物学などの違いが生じます。数学はこれらの自然科学の全体に深く関係する学問分野です。物理学、化学、生物学は、数学とは異なり、実験科学です。実験科学では、自然の現象を観察あるいは観測して得られた結果をもとに、仮説を立て実験を行ないこれを検証し、できるだけ基本的な法則に基づいて自然を理解しようとしています。この考えは、最初は物理学に取り入れられ、化学、生物学にもこの手法が深く浸透してきました。医学・歯学を正しく理解するためには、このような科学の方法論を理解するとともに、物理学、化学、生物学の知識も不可欠になっています。したがって、いずれの科目でも、講義によって基本的な知識を学ぶとともに、実験によって現象の観察や観測の基本を学びます。

「サイエンス PBL 入門」は、医学科と歯学科の学生が履修する必修科目です。この科目は7名程度から成るグループに分かれて行います。自然科学の考え方に基づいた話し合いから課題を解決する技術を向上させることによって、自然科学の知識を論理的に活用できる研究者の基礎を育成することを目的としています。

また教養選択科目としても自然科学系の多くの科目が開講されていますので、各自の興味や弱点を考えて取捨選択し、積極的に学んでください。

● 数学の指針

数学は自然科学の全分野にわたって必要不可欠な存在となっており、これは医学・歯学においても例外ではありません。しかしながら、大学における数学教育は、このような数学的知識や技術の習得だけが目的ではありません。

むしろ「論理的思考能力」を育成することに最大の重点が置かれているといつていいでしょう。ここでいう「論理的思考能力」というのは、与えられた前提・条件から、正確に推論を行って結論を得る能力であり、かつ、その推論を正確に記述する能力を意味します。高校までの学習においては、ともすると試験問題の正解を得ることに重点がおかれ、その正解を得る過程での正確な推論や証明の記述能力は軽視されがちです。学生諸君は「論理的思考能力の育成」が数学を学ぶ最大の目的であることを強く意識し「自分で考え」、「疑問点が自分で解決できないときは必ず質問する」という態度で学ぶことが必要です。

数学分野が各学科・専攻1年次に開講する必修科目（一部選択科目）は次の通りです。また、この他に教養選択科目をいくつか開講しています。できるだけ多く学ぶことをお勧めします。

学部・学科	前期
医学部医学科	数学 I M 数学 II (選択) 情報処理 (α) / (β)
医学部保健衛生学科 看護学専攻	情報科学 (α) 統計学 (α)
医学部保健衛生学科 検査技術学専攻	数学 I T 統計学 (β) 情報科学 (β)
歯学部歯学科	数学 I D 数学 II (選択) 情報処理 (α) / (β)
歯学部口腔保健学科	統計学 (α) 情報科学 (α)

注1) 医学科・歯学科の後期「数学II」は「物理学II」との選択となります。科目・クラス選択の詳細は別途指示します。

● 物理学の指針

物理学とは自然界の普遍性・共通性を理解する学問です。その成果は、私達の生活の基盤を成しているだけではなく、医歯学の中でも基盤を成しています。例えば、人体の動きや歯の矯正治療では力学の知識

が必要となってきます。また、X線、レーザー、MRI、重粒子線治療など現代医療に欠かせない技術の基本原理はすべて物理学研究の中で発見されました。さらに、物理学の知識だけではなく、自然現象をできるだけ基本法則に基づいて理解しようとする物理学の考え方を身につけることは、皆さんの将来の研究現場で大いに役に立つでしょう。

物理学分野が各学科・専攻1年次に開講する必修科目（一部選択科目）は次の通りです。その他に教養選択科目を開講しています。また、教養基礎セミナーの中でも物理学の教員が教えています。自分の興味や弱点等を考えて取捨選択をし、積極的に学んで下さい。

学部、学科、専攻	必修科目	選択科目
医学部医学科	前期：物理学Ⅰ M 自然科学実験（物理学実験）	前期：物理学入門（←入試物理非選択者） 物理学Ⅱ M（選択）
医学部保健衛生学科 検査技術学専攻	前期：物理学Ⅰ D・T 物理学Ⅱ D・T 通年：科学基礎実験 T	前期：物理学入門（←入試物理非選択者）
歯学部歯学科	前期：物理学Ⅰ D・T 自然科学実験（物理学実験）	前期：物理学入門（←入試物理非選択者） 物理学Ⅱ D・T（選択）

注1) 医学科・歯学科の「物理学Ⅱ」は「数学Ⅱ」との選択となります。科目・クラス選択の詳細は別途指示します。

● 化学の指針

化学は、医学・歯学・看護学・検査技術学・口腔保健学を学ぶ者にとって最も重要な基礎科目のひとつです。したがって、高校で習得してきた化学の知識を再確認し理解を深めながら、さらに高度の知識を積み重ね、学部で学ぶ生化学、生理学、薬理学などを理解するための基礎をつくらなければなりません。

この目標に向けて、講義、演習、実習を通して化学の理解を深めるとともに、実験の基本を習得します。学部学科専攻により、履修すべき科目が異なりますので、間違いのないように表を参考にして下さい。

学部、学科、専攻	必修科目	選択科目
医学部医学科	前期：化学 M 前期：自然科学実験（化学実験）	前期：化学入門（←入試化学非選択者）
医学部保健衛生学科 検査技術学専攻	前期：化学 D・T 後期：科学基礎実験 T（化学実験）	前期：化学入門（←入試化学非選択者）
医学部保健衛生学科 看護学専攻	前期：化学基礎 前期：科学基礎実験 N・O・K	
歯学部歯学科	前期：化学 D・T 前期：自然科学実験（化学実験）	前期：化学入門（←入試化学非選択者）
歯学部口腔保健学科	前期：化学基礎 前期：科学基礎実験 N・O・K	

医学科・歯学科・保健衛生学科検査技術学専攻のうち入試で化学を選択しなかった学生は「化学入門」(前期)を選択科目として履修することになります。

教養選択科目として、前期に「S・水の科学」、夏季に集中型で「S・分子分光化学演習：基礎編」、後期に「S・糖の科学」、「S・生命分子スペクトル解析学演習」、「S・タンパク質の科学」が開講されます。

● 生物学の指針

講義系の科目では、基本的な知識の習得に加え、これらの知識が医療の領域まで応用されていることを理解することが目的です。実験系の科目では、自然現象を観察し、実験結果と従来の知識を基にして仮説を立て、これを検証する方法の基礎を学ぶことと、レポートの書き方を習得することを目的としま

す。

「*」の科目は、医学科・歯学科・保健衛生学科検査学専攻の学生で、本学の入学試験（理科）で「生物」を選択しなかった学生が履修する科目です。

学科専攻	必修科目
医学科	生物学入門 (α)/(β)* 生物学 M 自然科学実験(生物学実験)
保健衛生学科 (看護学専攻)	生物学基礎 科学基礎実験 N・O・K
保健衛生学科 (検査技術学専攻)	生物学入門 (α)/(β)* 生物学 D・T 科学基礎実験 T
歯学科	生物学入門 (α)/(β)* 生物学 D・T 自然科学実験(生物学実験)
口腔保健学科	生物学基礎 科学基礎実験 N・O・K

● リサーチマインド養成プログラム

自然科学系では研究者育成のため、リサーチマインドを涵養する教養選択科目を開講しています。

「S・分子分光光学演習：基礎編」

「S・生命分子スペクトル解析学演習」

「S・海洋生物学実習」

「S・バクテリアコロニーパターンとその数理モデルを作ろう」

【開講科目一覧】

物理学入門

化学入門

生物学入門 (α) / (β)

数学 I M/D/T

数学 II (α) / (β) / (γ)

統計学 (α) / (β)

物理学 I M/D・T

物理学 II M/D・T

化学M/D・T

化学基礎

生物学M/D・T

生物学基礎

自然科学実験 (物理学実験、化学実験、生物学実験)

科学基礎実験 T

科学基礎実験 N・O・K

情報科学 (α) / (β)

情報処理 (α) / (β)

サイエンス P B L 入門

3) 外国語

【指針】

外国語を学ぶ目的には、大きく分けて二つあるように思われます。一つはその言語を話す人々とのコミュニケーションの手段として習得すること、もう一つは言語を通して、その言語を担う人々の文化や歴史を感じ取り、学ぶことです。国府台地区には外国語として、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、日本語（留学生のみ）が開設されていますが、第一外国語として学ぶ英語と第二外国語として学ぶ他の外国語ではこの二つの重心が少し異なるかもしれません。

英語は必修科目として、全員が履修します。第二外国語は選択科目ですので、入学時の希望外国語調査にしたがって振り分けられた指定のクラスで、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、日本語（留学生のみ）の中から、1科目を履修します。第二外国語を途中で変更することはできません。第二外国語の成績は、2単位分が評価されます。

● 英語の指針

前期に「コミュニケーション」と「読み書き」の二つの授業を受けます。習熟度別にクラス分けを行い、中級はGE (General English) クラス、上級はEAP (English for Academic Purposes) クラスとします。「コミュニケーション」のGEクラスでは、主にディスカッションの技術向上を目標とします。EAPクラスでは、課題の文章を与えた上で、その内容についてのディスカッションやディベートを行ったり、レクチャーを聞いた上で、内容を要約したりします。「読み書き」のGEクラスでは、読解力の底上げや文レベルでの作文技術の向上に焦点を当てます。クラスによっては、より長い文章を書かせる場合もあります。EAPクラスでは、主にパラグラフライティングおよびエッセイの執筆に取り組みます。

後期の英語の授業は一つで、選択制となります。多様な社会、文学、ディスカッションやプレゼンテーションなどに関する後期科目の内容をシラバスで読み、指定された時期に履修希望を提出してください。履修希望の提出時期や方法については7月に発表します。

すべての学生は、英語の授業で学んだことを英語による授業に活かしたり、また課外でのさまざまな経験につなげていくチャンスがあるのですから、より多くのことにチャレンジし、そのチャレンジの過程で新たな課題や動機付けを得てほしいと思います。

● 第二外国語の指針

第二外国語は、前期だけで週2コマの授業（必修と選択）で構成されています。どの言語もほとんどの学生は初学者であることを念頭に、初歩的な文法や発音から始め、基本的な作文、読解、聞き取り、会話能力を獲得させることを目指します。また、授業の一部では、文化的な諸問題をめぐる思索や多様な文化への理解を促す内容を扱います。

たとえばドイツ語の習得は、文化の成熟にともない標準化と多様化という一見矛盾する二つのプロセスが同時に進行するヨーロッパ像の理解につながります。フランス語は、フランス社会のみならず、イスラム社会の問題やアフリカの様々な問題を深く理解する窓口にもなります。中国語は、日本と中国の文化的な近さや、今日の混迷する東アジア情勢について考える上で有益です。スペイン語は、先住民文化とヨーロッパ文化の混合をはじめとする、旧植民地をめぐる問題を理解することにもつながります。

留学生は、日本語を履修します。日本語の授業では、教養教育および専門の医歯学教育をうけるための基礎となる日本語能力、また日本社会でよりよく自分の能力を発揮して、自国と日本の友好と親善に貢献するために必要な日本語能力の獲得を目指します。

【開講科目一覧】

英語 IA・B・C

ドイツ語 I・II

フランス語 I・II

中国語 I・II

スペイン語 I・II

日本語 I・II

4) フィジカルウェルビーイング

【指針】

フィジカルウェルビーイング分野では、授業科目として前期は選択科目の「フィジカルウェルビーイング」と、看護学専攻学生を対象とした選択科目「フィットネスマネジメント」の2科目、後期は教養選択科目の「S・ソーシャルウェルビーイング・コミュニケーション実践」の1科目、計3科目の授業を開講致します。

ウェルビーイングは「幸福」「健康」とも訳され、ひとびとの目指す根源的なものです。WHO憲章では“Health is a state of complete physical, mental and social wellbeing.”としており、身体的・精神的・社会的ウェルビーイングは健康における重要な要素となります。医療従事者をを目指す学生が健康の基本的概念である「ウェルビーイング」を知ることはとても大切です。特にウェルビーイングの中でも「フィジカルウェルビーイング」は身体的健康とも訳され、医療や医学に直結します。

日本は高齢化社会を迎え健康寿命の延伸が求められる中、健康を保つには身体機能の維持が重要であり、特に運動と身体的健康との関連性の重要性が言われています。例えば糖尿病等代謝疾患や心血管疾患の予防に運動は大きく寄与し、また運動は骨代謝やメンタルヘルスにも大きく影響します。また歯科疾患とフィジカルウェルビーイングとの関連性を知ること大切です。

本授業の目的は、フィジカルウェルビーイングと運動の関連性と重要性の理解を通じて、健康ウェルビーイングのために身体機能が重要なことを知ることにあります。

さらに、本授業ではスポーツ医学を紹介し、運動やスポーツと医療・医学との関係性を知り、運動やスポーツの重要性を知ること目的となります。

また、医療では多職種間のコミュニケーションによるチーム医療が重要となっており、チームの一員としてコミュニケーション能力を発揮することが求められています。フィットネスマネジメントの授業では、身体活動を通じて自己を知り、他者との関係性やコミュニケーションのあり方について学ぶことを目的としています。

【開講科目一覧】

<前期>

フィジカルウェルビーイング（*）

フィットネスマネジメント（*）

<後期>

S・ソーシャルウェルビーイング・コミュニケーション実践

【看護学専攻学生における留意点】

看護学専攻においては、保健師免許取得後の申請により「養護教諭二種免許状」を取得することが可能です。取得に当たっては、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目「体育」の 2 単位を取得することが必須です。

「フィジカルウェルビーイング(*)」と「フィットネスマネジメント(*)」は「体育」の 2 単位に相当します。

しかしながら、後期「S・ソーシャルウェルビーイング・コミュニケーション実践」は「体育」1 単位のみとなり、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目「体育」の 2 単位には相当しませんのでご注意ください。

2. 教養選択科目

【概要】

教養選択科目は、講義、セミナー（原書・論文講読を含む）、実験と授業形態は様々です。各自の興味、関心に合わせて科目を選び、1科目（1単位）以上を履修してください。

- 受講資格を確認のうえ選択してください。
- 各科目には、履修可能な人数（募集人数）に制限があります。
- 夏季・冬季集中型科目、および授業期間外の日程を含む科目については、授業日程に注意してください。
- 「S・宇宙地球科学」のみ大岡山理学院による授業で、前期7コマ、後期7コマ、合計14コマ（オンデマンドを予定）を履修する必要があります。
- 履修手続きの詳細は「II-3. 4) 教養選択科目の選択と履修手続きについて」を参照のこと。

2026年度 教養選択科目一覧

2026.3.10 更新

時期	番号	科目名 (英文)	担当 教員	曜日等	時限	対象学科	募集 人数	備 考
前期	1	S・水の科学 (Science of water and aqueous solutions)	奈良				30	
	2	S・数理生物学入門 (Introduction of Mathematical Biology)	中林				30	
	3	S・イギリス文学講読 (Reading English Detective Novels)	猪熊				12	
	4	S・江戸市川文学散歩 (Edo and Ichikawa Literary Walk)	木谷	備考確認			15	講義予定日のうち、2日を開講せず、1日使って散歩する日を設けたいと思います。
	5	S・英語文学と社会 (English Literature and Social Change)	Whitaker				12	英語による講義
	6	S・実用統計学 (Practical Statistics)	徳永			看護・検査 衛生・工学	30	
	7	S・生命医学研究リテラシー入門 (Research Literacy for Future Clinician-Scientists)	栗田			医学科	8	科学論文の基本構造、査読、科学出版プロセスの解説、医学系論文(英文原著)の読解・発表指導を少人数を対象に行う。6名までが最も高い教育効果が得られると考えるが、最大8名までは指導可能。
	8	S・国際・グローバル研究入門 (Introduction to International & Global Studies)	Young				30	英語による講義
	9	S・宇宙地球科学 (Earth and Space Sciences)	理学院 教員				30	オンデマンド形式 14コマの履修が必要
夏季集中	1	S・分子分光学演習：基礎編 (Exercise in Molecular Spectroscopy : A Basic Course)	奈良	備考確認	1～4講		10	8/3(月)、8/17(月)～8/21(金)
	2	S・やってみようバイオインフォマティクス (Bioinformatics for beginners)	中林	備考確認	1～4講		15	8/3(月)～5(水)
	3	S・海洋生物学実習 (Marine Biology Experiments)	松本 栗田 伊藤	備考確認			20	8/17-20に京都大学瀬戸臨海実験所で実習を行う予定ですが、この日程は確定ではないです。現在京都大学側と調整中です。また28日に発表会を行う予定ですが、こちらも実習期間がずれると変更する可能性があります。
	4	S・彫刻(塑像) (Sculpture (Plasticine))	高見	備考確認	3～4講	歯学科以外 医学科優先	10	8月下旬予定
	5	S・生成AI活用CGキャラクターによる解説動画制作 (Production of Instruction Movie with CG Character utilizing Generative AI)	辻	備考確認	2～5講		30	8/3(月)～5(水)
	6	S・バクテリアコロニーパターンとその数理モデルを作ろう (Experimental Generation of Bacterial Colonies and Construction of Their Mathematical Models)	中山	備考確認	1～4講		6	8/3(月)～5(水) 連続で実験をするので日程を確保できる方のみご参加ください
後期	1	S・生命分子スペクトル解析学演習 (Spectroscopic study for moleculars of life)	奈良	木	3講～4講	医学科・歯 学科・検査	5	
	2	S・ソーシャルウェルビーイング・コミュニケーション実践 (Social Wellbeing・Communication Practice)	柳下 渡邊	木	3講～4講		30	
	3	S・社会福祉概論 (The General Theory of Social Welfare)	包	木	3講～4講		10	
	4	S・言語学概論 (Introduction to Linguistics)	藤井俊	木	3講～4講		15	
	5	S・糖の科学 (Science of Sugar)	勝又	木	3講～4講		10	
	6	S・現代パフォーマンスアーツ入門 (Introduction to Contemporary Performing Arts)	徳永	木	3講・4講		30	
	7	S・ミシェル・フーコー『臨床医学の誕生』を読む (Reading Michel Foucault's The Birth of the Clinic)	藤井達	木	3講～4講		10	
	8	S・日本人移民の歴史 (History of Japanese Migration)	高木	木	3講～4講		15	
	9	S・Premedical 人体生物学入門ゼミナール (Introduction to Premedical Foundational Sciences)	高垣 (国際本部)	木	3講～4講	医学科	15	英語による講義
	10	S・タンパク質の科学 (Protein Science)	澤野	木	3講～4講		10	
冬季集中	1	S・サイエンスフロンティア概論(仮) (Introduction to Science Frontier)	自然系 教員	12～1月	-		30	非同期授業

3. 専門課程における全学科共通科目（1年次後期）

【概要】

1年次後期より専門課程の授業が本格的にスタートしますが、数理データサイエンス教育科目やアカデミック・リテラシーは全学科の学生が身につける共通の基盤であり、専門課程の中で全学科共通科目として開講されます。

数理データサイエンス教育科目では、医学歯学分野における数理・データサイエンス・AI教育を推進するため、1年次向け導入科目が開設されます。2年次以降も専門科目と並行して順次開講の予定です。未配当の学科・専攻の学生は、卒業要件外の自由科目として履修できます。

「アカデミック・リテラシー」では学問を身につけるため、また身につけた学問をアウトプットするために、必要かつ基本的な技能として、論理的な文章の作成方法や、正しい情報の収集・引用・発信の方法を学びます。「情報活用」「文章表現」「口頭表現」という三種類の内容で行います。

【開講科目一覧】

- 数理データサイエンス教育科目
 1. 医療とAI・ビッグデータ入門
 2. AI・データサイエンスのための数学

- アカデミック・リテラシー

4. 専門科目（1年次）

1) 医学科

【開講科目一覧】

多職種連携 I
医学導入
匠講話
AI・データサイエンスのための数学
医療と AI・ビッグデータ入門
アカデミック・リテラシー
人体構造総論
細胞生物学

2) 看護学専攻

【開講科目一覧】

解剖学
生化学
病理学
微生物学
栄養学
アカデミック・リテラシー
AI・データサイエンスのための数学
医療と AI・ビッグデータ入門
国際保健看護学 I
看護制度論
人間の健康と看護
基盤看護学実習 I
看護の統合と実践
多職種連携 I
憲法（自由科目）
国際保健福祉 A（自由科目）

3) 検査技術学専攻

【開講科目一覧】

人体構造学講義
病理検査学講義 (I)
生化学講義 (I)
分析化学検査学 I
医用システム情報学講義 (I)
病原体検査学講義 (I)
臨床検査総合管理学
多職種連携 I
AI・データサイエンスのための数学
医療と AI・ビッグデータ入門
アカデミック・リテラシー
短期海外研修 A (自由科目)

4) 歯学科

【開講科目一覧】

多職種連携 I
歯学入門
早期臨床体験実習
基礎情報医歯学
行動科学基礎
社会と環境
遺伝の分子的基盤
細胞機能の分子的基盤
生命を構成する分子とその代謝
硬組織生化学の分子的基盤
生命の分子的基盤実習
人体の構造と機能（歯の解剖）
研究入門 I
研究入門 I α
AI・データサイエンスのための数学
医療と AI・ビッグデータ入門
アカデミック・リテラシー
生命科学基礎

5) 口腔保健衛生学専攻

【開講科目一覧】

人体の構造と機能（人体の構造と機能 I）
歯・口腔の構造と機能（歯の形態学）
公衆衛生学
社会保障
メディア情報学基礎
多職種連携
AI・データサイエンスのための数学
医療と AI・ビッグデータ入門

アカデミック・リテラシー
歯科衛生学総論
臨床体験実習
卒業研究

6) 口腔保健工学専攻

【開講科目一覧】

口腔保健と専門職
メディア情報学基礎
メディア情報学応用
造形美術概論実習
AI・データサイエンスのための数学
医療とAI・ビッグデータ入門
アカデミック・リテラシー
感染予防
早期臨床体験実習
う蝕と歯周病
人体の構造と機能
歯の解剖学
研究体験実習
多職種連携 I
口腔保健工学エクスターンシップ

IV. 学生生活のために

1. 毎日の学生生活

1) 学生証

学生証は入学時に交付され、本学に在籍する学生であることを証明するものです。

国府台地区では講義の出席確認（各教室にカードリーダーがあり、そちらに読み込ませます。）や、定期試験受験の際、本人確認のために、学生証を机の上に置くよう指示しています。

このように学生証はいろいろな場面で身分を確認するために必要であり、同時に出欠管理機能や湯島地区での入退館システムキーの機能を持っています。とても大切なものですから、いつでも提示できるように常に携帯し、汚したり、無くしたりしないように心掛けてください。

2) 出欠確認

各授業開始時（Zoom 等遠隔授業を除く）に必ず学生証をカードリーダーにタッチしてください。パネルが青く光れば読取成功、赤く光ったら読取失敗です。

各授業時限で 開始前 10 分間に登録できれば出席
 開始後 10 分間に登録されたら遅刻
 開始後 10 分以降は欠席

として登録されます。カードリーダーによる出席登録情報は DreamCampus で確認できます。

なお、授業・担当教員によっては、点呼、署名用紙、小テスト等により別途出席を確認することもあるので必ず教員の指示に従ってください。

学生証を忘れた場合は、国府台教務グループで「仮学生証」を借りることができます。ただし、利用の際は必ず担当教員に申し出、当日中に必ず国府台教務グループ（17 時 15 分以降は警務員室）に返却してください。また、国府台地区で借りた「仮学生証」を湯島キャンパスで使用したり、各学部で借りた「仮学生証」を国府台キャンパスで使用することはしないでください。

Zoom 等による遠隔授業の場合は、出欠確認のために、大学のアカウントで出席するようにしてください。

3) 定期試験受験上の注意および不正行為について

- (1) 受験生は座席表（各試験室に掲示）により席が指定されている場合は、必ずその席で受験すること。
- (2) 受験に際しては**学生証を机の上に置くこと**。また、筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム）、時計以外は机の上に置かないこと。筆箱などの筆記用具入れ、鞆類、ノート、プリントなどの資料等はすべて指示された場所に置くこと。**携帯電話は電源を切って鞆にしまうこと**。著しく試験の妨害になると思われる物は国府台教務グループに預けること。
- (3) 試験室への入室は**試験開始から 30 分以内までとし、以後は入室を認めず**その科目を受験させない。また**退室は試験開始から 30 分後まで認めない**。
- (4) **不正行為を行った者は当該科目の評価を 0 点とし、その行為に対する事情聴取を行なったうえ、首席副研究教育院長より当該学部長に報告を行ない懲戒の対象とする。**
- (5) 試験終了後（課題提出も含む）に不正行為が発覚した学生についても同様の扱いとする。
- (6) 病気、その他のやむを得ない事由により定期試験を受けることができなかった時は、速やかに国府台教務グループに連絡のうえ、**5 日以内に必要書類（診断書等）を添えて試験申請書を提出すること**。
- (7) 定期試験は期末の筆記試験のほか、期間中の考査や、課題提出等によることもあります。必ずシラバス等で確認し担当教員の指示に従ってください。

※試験を Zoom で実施する場合の受験上の注意事項は別途指示します。

4) 掲示

- ・告示や通知、連絡等（教室変更、休講、学業に関する指示、呼出、試験時間割、学校行事、授業料納入、奨学金関係等）は Web 上に掲示することにより、周知したものとして取り扱います。Web 及び学生 Web メールについては必ず毎日 1 回はチェックするようにしてください。なお、緊急情報（前日夜若しくは当日判明した休講情報等）及び履修・定期試験情報については、Web 上に掲示します。
- ・未確認のために不利益が生じた場合は自己責任になります。登校前までに必ず Web および Web メールを確認してください。
- ・必要に応じて学籍番号を用いた掲示についても、Web 上を通じて行います。

5) 自然災害・事故等に伴う休講措置等について

自然災害・事故等に伴う授業の休講、試験の延長については、下記により Web にて公示しますので、必ず、確認を行ってください。

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

○首都圏における交通機関(JR 及び大手私鉄・地下鉄など) が全面的に運転を休止している場合

- ・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

また、湯島地区における授業の休講、試験の延長については、大学ホームページ (<https://www.tmd.ac.jp/faculties/kyukou/>) にて公示しますので、必ず、確認をしてください。

6) 電話による呼び出し・照会

電話を受けて個々の学生を呼び出すことはできません。

家族の方や知人、友人等に理解を得ておいてください。ただし、緊急事態の場合はこの限りではありません。

7) 自動車通学について

身体的理由により自動車による通学が必要な場合を除き、国府台キャンパス構内に学生が駐車することは禁止しています。（対外試合等で本学に来校の他大学生も含む）

なお、自動車による通学を許可された場合、あるいは自転車（バイクを含む）通学をする場合は、所定の駐車場（駐輪場）に駐車してください。

また、構内を移動するために走行することは原則として認めません。

8) 禁煙について（成年者のみ。未成年者の喫煙は法律で禁止されています。）

国府台キャンパスは全面禁煙です。

9) 禁酒について

東京科学大学国府台キャンパス内における飲酒の扱いは、以下のとおりとします。

第 1 学生が共同利用する場所での飲酒は年齢を問わず禁止します。

(1) 屋外

- (2) 教室、実験・実習室、国府台図書館
- (3) 休憩室、談話室
- (4) 体育館、武道館、弓道場、プール
- (5) 部室、更衣室
- (6) 学生寄宿舍の談話室、倉庫
- (7) 廊下、階段
- (8) 合宿研修所

(処分等)

第2 禁止されている場所での飲酒の事実が明らかになった場合、該当する個人は処分の対象となります。また、団体（クラブ・サークル等）についても、活動の一部若しくは全部の有期又は無期停止の処分の対象となります。

それ以外の場所であっても、飲酒の強要等の行為は処分の対象となります。

10) 国府台キャンパス構内の芸術作品について

国府台キャンパス構内に設置されている芸術作品の多くは、東京藝術大学美術学部の全面的な協力の下、同学部の卒業ならびに修了制作作品の一部を借り受けて、1年間展示しているものです（延長展示あるいは買い取り作品もあり）。

ヒポクラテスホール1階ロビー正面（3番教室前）に設置されている「ヒポクラテス像」は、本学医学科の同窓会組織である東京科学大学医科同窓会から50周年記念事業の一環として寄贈されたものです。

いずれも作品に触って毀損しないように注意してください。

11) 学生相談

国府台地区では、学業や日常の生活、その他の諸問題が生じた場合に対応するために、教育委員会委員、保健管理センター分室、学生女性支援センター分室（詳細は次項目参照）を置いています。

一人で悩まず、どの様なことでも気軽に相談し、問題解決に向けて努力してください。

(1) 教育委員会委員

所属	教員名	備考
人文社会科学	藤井 達夫	
数学	中林 潤	
フィジカルウェルビーイング	柳下 和慶	
化学	勝又 敏行	
生物学	栗田 武	
化学	澤野 頼子	
第二外国語	包 敏	

(2) 教員別学生面接受付時間 (Office Hour)

教育委員会委員以外の各教員も、オフィスアワーを設けて、その時間に学業や学生生活の相談に応じています。オフィスアワーについては、巻末の専任教員連絡先に記載しています。

(3) 留学生の指導員

教育委員会では、国費・私費留学生として入学した学生を対象に、国府台地区での学生生活を円滑に進められるよう留学生ごとに1名の指導教員と学生チューターを配しております。詳細は4月中にお知らせします。

2. 福利・厚生サービスなど

1) 国府台保健管理センター

利用時間 平日 9:45～16:15 (木曜日は9:15～15:45)

場所 シャン・ドウ・コーズリー1階

URL : <https://www.tmd.ac.jp/hsc/kounodai/>

連絡先 : 047-300-7108



保健管理センターでは、学生の心身の健康保持を図ることを目的に、各種の健康診断およびその事後措置、健康の保持増進についての必要な指導、一般健康相談、メンタルヘルス相談などを行っています。

湯島地区と連携を取りながら、保健師に簡単な健康相談を受けることができ、急な体調不良や怪我をした場合には応急手当の処置を行うことができるようにしています。

また、国府台保健管理センターでは以下の日程で、専門の医師による一般健康相談やメンタルヘルス相談、臨床心理士による相談も受付けています。

	月	火	水	木	金
午後		藤枝(心理相談) 12:25～13:30		田澤(内科) 12:25～13:30	安藤(メンタル) 12:25～13:30
				柳下(整形外科) 12:25～13:30	

※後期の日程については、国府台保健管理センターのページにてご確認ください

進学や就職に必要な健康診断証明書のお申込みについては、湯島・国府台保健管理センターホームページでご確認ください。メールでのお申込みも受付しています。

ただし、定期健康診断を受診していることが必要です。ご不明な点はお問い合わせください。

2) 湯島学生支援センター分室

ホームページ : <https://www.tmd.ac.jp/labs/gakuseihokenkikou/scsfs/index.html>

湯島学生支援センターは、本学の学生に対して、生活、修学、就職、メンタルヘルスやハラスメントに関する事など、キャンパスライフ全般に渡り、全学的に支援を行い、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。また、学生生活全般に関する個別相談に応じています。各ホームページに予約方法を記載していますので、何かあればお気軽にご利用ください。

<学生生活全般に関する事>

担当 : 学生相談支援室

利用時間 : 水曜日 12:00～14:00 (休暇期間を除く)

※水曜日に国府台地区で対面相談を希望される方は、2日前 17時までに事前予約が必要で個別相談予約方法に従い、まずはメールでご連絡ください。

メール件名に「個別相談予約 国府台地区水曜希望」とご記入ください。



ホームページ : <https://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/gakuseisoudanmadoguchi/>

e-mail : scenter.stc@tmd.ac.jp

- ・生活に関する相談…家族の問題、経済的な問題 etc.
- ・人間関係に関する相談…友達とのこと、恋愛について、課外活動のこと、研究室のこと etc.
- ・修学に関する相談…授業や実習・勉強について、勉強が手につかない、論文が進まない etc.
- ・進路・就職に関する相談…卒業後の進路、就職活動について etc.
- ・メンタルヘルスに関する相談…健康の問題、ストレスについて etc.
- ・ハラスメントに関する相談…アカデミックハラスメント、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント etc.
- ・その他…セクシュアリティやジェンダーに関すること etc.
- ・障害に関する相談…障害や持病に関すること etc.

☆個別相談時間

事前予約制です。相談内容により曜日が決まっています。詳細はホームページをご参照ください。

3) DE&I 部門

＜キャリア支援や学業（仕事）と家庭との両立支援に関すること＞

担当：キャリア・ライフ相談室

ホームページ：<https://www.tmd.ac.jp/ang/counsel/index.html>

e-mail：info.ang@tmd.ac.jp

- ・今後の進路や生き方に関する相談
- ・学業と妊娠・出産・育児との両立や保育園入園・介護に関する相談
- ・病児保育、病後児保育、一時保育、お泊り保育の利用に関する支援及びその相談。



☆個別相談時間

事前予約制です。相談内容により曜日が決まっています。詳細はホームページをご参照ください。

4) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）

学生が授業や学校行事、課外活動等において身体に傷害を被った場合に備え、入学時に全員加入する保険制度です。

万一事故にあった場合は、速やかに湯島学生支援総括グループ（studentinsurance.md@adm.isct.ac.jp）へメールで連絡し、請求手続方法等についての指示を受けてください。

5) 健康保険証

被保険者（両親）と住居を異にしている人は、不慮の負傷や病気に備えて「健康保険被保険者証」またはそれに代わる「遠隔地被扶養者証」の交付を受け、常に携帯するよう心掛けてください。

3. 国府台地区施設の利用

1) 学生用ロッカーの使用

国府台地区で全学科共通科目を履修している間は、学生用個人ロッカーを貸与します。鍵は各自で用意してください。ロッカー室では、盗難防止のため、貴重品は各自が責任を持って管理してください。ロッカー室の使用時間は8:30～21:00です。

なお、1年次修了前までに、ロッカーは空の状態にしてください。後日指定する明け渡しの期限までに万一残っていた荷物は理由の如何を問わず全て廃棄します。明け渡し期限（例年2月末頃）までにロッカーの荷物は全て撤収してください。

2) 教室の授業時間外の利用

課外活動や自習等で教室を使用したい時は、事前に国府台教務グループに申請し、許可を取ってください。

また、使用に際しては次のことを守ってください。

- (1) グループ学習目的での貸出は、授業使用時を除く平日の9:00~20:00です。
- (2) 飲食および火気の使用は禁止します。
- (3) AV機器は貸出不可です。
- (4) その他、教職員・警務員の指示に従ってください。

3) 厚生施設の利用

国府台地区には、厚生施設として談話室、休憩室が設けられています。

気持ちよく利用できるよう、談話室、休憩室では特に次のことを守ってください。

- (1) 火気や盗難に十分に注意してください。
- (2) 常に整理・整頓し、清潔を保つように心掛けてください。
- (3) 備付の器具や物品を持ち出さず、万一破損した場合は、速やかに国府台教務グループまで届け出てください。
- (4) 使用時間(8:30~21:00)を厳守してください。
- (5) 平日以外の曜日は、原則として使用できません。

4) 運動施設(体育館・グラウンド・テニスコート・武道館)の利用

国府台キャンパスにある体育館等の運動施設は、保健体育分野の授業をはじめ、本学学生および職員の健康保持・増進、体力向上を図ることを目的に整備されています。特に使用者(使用種目数)の多い体育館・グラウンド等の利用については、その安全で円滑な使用のために使用規則等を定め、「キャンパスガイドブック」に記載しています。使用に際しては、それらに従って使用許可等を受けて下さい。また、使用に際しては規則を守り、常に快適な環境を保持し、事故防止を心掛けましょう。

なお、以下に運動施設別の注意事項を記載しますので、使用する際には、必ず守ってください。

運動施設の使用に関する共通注意事項

1. 使用時間8:30~21:00を厳守してください。
2. 使用に際しての優先順位は原則として次のとおりとします。
①授業、②大学が認めた行事、③課外活動
3. 課外活動として使用を希望する際は、使用する前月20日までに学生支援事務室にて施設使用届を提出してください。
4. 許可を受けていない設備・物品を無断で使用しないでください。
5. 使用後は、施設・設備品を現状に復し、館内の清掃・整備をしてください。

○体育館の使用について

1. 使用に当たっては、必ず体育館用のシューズを使用してください。
2. 使用後は、施設・設備品を現状に復し、館内の清掃・整備をしてください。
3. 更衣室を使用した後は、整理・整頓を心掛けてください。
4. 12:00~13:00は原則、教職員の使用優先時間帯となっています。

○武道館の使用について

1. 使用に当たっては、原則、素足とし、運動靴での使用はできません。

○グラウンドの使用について

1. 使用に当たっては、必ず目的にあったシューズを使用してください。

2. サッカーゴールは使用后、転倒防止の為、必ず倒してください。

○テニスコートの使用について

1. 使用に当たっては、必ずテニスシューズを使用してください。

5) 国府台図書館の利用

(1) 入館手続

図書館に入館するには学生証を携帯してください。学生証を入退館ゲートの IC カード接触部にかざしてから入館してください。退館時には学生証をかざす必要はありません。学生証は図書館利用証になりますので、図書館の資料の貸出の際に必要となります。

(2) 開館時間と休館日

①開館時間 平日 8:45～18:45

(※授業が行われない日(春季・夏季・冬季休業期間中等)は17:00閉館)

(※本学の感染対策などの活動制限・悪天候等により、開館時間が急遽変更となる場合や臨時休館となる場合がありますので、事前にHPを確認の上、図書館にお越しください。)

・ホームページ及び開館カレンダー https://www01s.ufinity.jp/tmdu_lib/?page_id=432



②休館日 土日祝休日／本学夏季一斉休業日／年末年始

(3) 利用に際しての諸注意

①図書館の資料は館内において自由に閲覧することができます。資料を館外に持ち出すときは、貸出手続きをしてください。(一部貸出禁止資料あり)

②Presentation Room はグループ学習向けの部屋です。譲り合いのうえ自由に利用してください。また授業等で貸切りになる時間帯は掲示いたします。

③Seminar Room A-C は主に授業で利用します。教員を通して利用申込を行うことで学生のみでの利用も可能です。

④国府台図書館内は学内 Wi-Fi に接続可能です。

⑤館内での食事は禁止です。菓子等の軽食であっても禁止です。また喫煙、飲酒も禁止です。飲料はペットボトルや水筒などフタ付きの容器のみ持ち込みができます。(※上記のルールは、教養基礎セミナー等の授業で図書館を利用する際にも適用されます)

⑥館内での仮装・パーティー・宴会等は厳禁です。仮装の入館はお断りいたします。

⑦天候・通勤困難状況により急な閉館・遅れての開館となる場合があります。出入口やHPでの情報収集をお願いします。

⑧携帯電話はマナーモードにし、止むを得ず短時間の通話をする際には Communication Area にて行ってください。

⑨館内では静粛を心掛けてください。

(4) 館外貸出

①貸出冊数と期間

館外貸出ができる資料は国府台キャンパス所属の間は、国府台図書館で10冊まで借りることができます。

ます。2年生に進級以降は国府台図書館では6冊迄となります。

- ・一般図書 最大10点 期間2週間
- ・DVD等視聴覚資料 10点中最大3点 期間3日

また、図書館ホームページのMyLibrary(Web) (要統合ID) https://www01s.ufinity.jp/tmdu_lib/#



において、延滞のない利用者が、他から予約の入っていない資料に対して一回に限り期限を処理日から2週間延長することができます。(カウンターでも承ります)

②貸出禁止資料

参考図書・新着雑誌・大型本は貸出することができません。

(※その他、著作権等の関係上貸出できないものがあります)

(5) 貸出資料の返却

①国府台図書館では、他の三館(大岡山図書館・御茶ノ水図書館・すずかけ台図書館)で借りた資料の返却もできます。

返却は開館中のカウンターへお持ちいただくか、館外にある返却BOXに投函ください。

なお、返却BOXに投函された場合は、返却処理は翌日以降となりますので、ご注意ください。

また、国府台図書館で借りた資料は、他の三館(大岡山図書館・御茶ノ水図書館・すずかけ台図書館)でも返却が可能です。

なお、大岡山図書館及びすずかけ台図書館へ返却された場合、輸送に時間がかかります。返却期限まで余裕がない場合は、国府台図書館または御茶ノ水図書館へ返却ください。

②延滞

貸出期間を過ぎても返却しない利用者は、新規の資料貸出を受けることはできません。

また、返却した後も遅延日数分、新規貸出を停止することがあります。

繰り返しの督促に対して返却されない場合は、国府台図書館においてはPCロッカーの利用停止及び入館停止となることがあります。また御茶ノ水図書館でも、国府台図書館での資料返却に延滞がある者は利用できない場合があります。

(6) 資料の紛失・汚損・破損

図書館資料を紛失・汚損・破損をしてしまった場合は、カウンターにある貸出資料紛失届を提出のうえ、同一資料を弁償していただきます。同一資料の入手が困難な場合は、ご相談ください。

4. 諸手続きの窓口一覧

国府台教務グループ窓口および湯島キャンパスで取り扱う諸手続きと受付時間は、次のとおりです。

1) **国府台教務グループの受付時間** 月～金曜日(平日) 8:30～17:15 (k.kyoumu.adm@tmd.ac.jp)

湯島キャンパス窓口受付時間 月～金曜日(平日) 8:30～17:15

2) **証明書自動発行機(国府台教務グループ)の利用時間** 月～金曜日(平日) 9:00～17:15

(湯島キャンパス)の利用時間 月～金曜日(平日) 8:30～21:00

3) 諸手続一覧 【国府台教務グループ】

種 類	申込手続・期限	注意事項
試験申請書	当該科目定期試験終了後 <u>5日以内</u>	病気の場合は診断書を添付する必要がある。その他、正当な理由によるもの。
教室使用願	前日まで	平日9時～20時まで貸出可
公欠届	公欠事由該当期間終了後1 週間以内 裁判員の場合は公欠事由該 当期間開始前まで	感染症罹患、忌引き、裁判員等に専任された場合など「東京科学大学における公欠の制度に関する要項」で公欠として認められる事由に該当し授業等を欠席する(した)場合。必要書類を添付して提出する。
授業欠席届	速やかに届け出る (届出が遅い時は受理され ないこともある)	病気又は家庭の事情等で授業を欠席した(する)場合は、国府台教務グループ窓口で欠席届用紙を受け取り提出する。 病気の場合は診断書を添付。 その他、交通機関等の遅延による欠席については個別に担当教員に相談すること。
改姓届 / 住所・本籍地変更届	その都度届け出る。 (※入学手続時に提出し た「 <u>学生カード</u> 」と本人住 所が異なる場合は、速やか に届け出ること)	入学時に提出した住所に変更が生じたときは、必ず直ぐに届出ること。 届出を怠ると、大学から本人や保証人に緊急に連絡する必要があるが生じても連絡が取れず、不利益を被ることがある。改姓の場合は戸籍抄本を添付すること。
保護者等(保証人)変更届	その都度届け出る	入学時に提出した保証人住所に変更が生じたときは、必ず直ぐに届出ること。 届出を怠ると、大学から本人や保証人に緊急に連絡する必要があるが生じても連絡が取れず、不利益を被ることがある。
在学証明書	証明書自動発行機	英文については1週間前までに証明書交付願に記入して申し込む。
学生旅客運賃割引証	証明書自動発行機	帰省または課外活動などで片道営業キロ100Kmを超えて旅客鉄道株式会社(JR)を利用する場合、旅客運賃割引(2割)を受けることができる。 使用時は過剰に使用しないよう注意するとともに、必ず学生証を携帯すること。有効期間は発行日から3ヶ月のため、使用期日に留意すること。 学割証の不正使用をした場合は普通運賃のほかに2倍の追徴金が課せられるばかりでなく、本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがあるので、不正使用は絶対にしてはならない。

【湯島キャンパス】

種 類	申込手続・期限	問合せ・場所	注意事項
休学願	休学しようとする 2ヶ月前まで	各教務グルー プ 【場所は下記 参照】	病気その他の事由により2ヶ月以上休学しようとするときは、休学願を各教務グループへ提出。 願い出に際しては面談を受け、休学することによって生ずる修学上の諸問題等についてよく相談すること。

復学願	復学しようとする 2ヶ月前まで		休学している学生が、復学をする場合は許可を受けた休学期間が満了する場合は自動復学となる。 ただし、傷病を事由とした休学をしている場合は期間満了の場合も自動復学とはならず、「復学願」の提出が必要となる。(医師の診断書と保健管理センター発行の復学に関する意見書を添付する必要がある。) また、休学許可期間の途中で復学を希望する場合は、その事由を問わず、「復学願」を各教務グループに提出する。
退学願	退学しようとする 2ヶ月前まで		病気その他の事由により学業を継続することが困難となり、退学しようとするときは、退学願を各教務グループへ提出する。
成績証明書	1週間前まで		証明書交付願にて申し込む。英文についても同様
在学証明書	証明書自動発行機	5号館4階 談話室	英文については1週間前までに各教務グループに申し込む。
学生旅客運賃割証	証明書自動発行機		注意事項は国府台キャンパス同様
通学証明書	前日まで	教務課湯島学位審査グループ 【1号館1階】	バスおよび鉄道の通学定期券を購入する場合は通常、住居の最寄駅又は学校の最寄駅で「通学定期乗車券購入兼用身分証明書」を提示し直接購入するが、交通機関により大学の通学証明書を必要とする場合は、教務課湯島学位審査グループに申し込むこと。有効期限は発行日から1ヶ月間
通学定期乗車券購入兼用身分証明書の記載事項変更	その都度届け出る		
学生証の紛失・盗難、再交付	速やかに届け出る		再発行手数料は1,500円
国府台地区運動施設	前月20日まで		
国府台合宿研修施設使用申込書	2週間前まで	湯島 学生支援室 【5号館3階】	詳細は「キャンパスガイドブック」を参照
授業料免除申請書 (徴収猶予申請)	掲示で告知		

各教務グループの場所

医学部医学科の学生	→	医学教務グループ	… 1号館西1階
医学部保健衛生学科の学生	→	保健衛生教務グループ	… 同上
歯学部歯学科の学生	→	歯学教務グループ	… 同上
歯学部口腔保健学科の学生	→	口腔保健教務グループ	… 同上

4) 拾得物

国府台地区構内で拾得物を見つけたときは、速やかに国府台教務グループに届けてください。所有者の明らかなものは掲示等によりお知らせします。なお、所有者不明で一定期間、国府台教務グループ前の拾得棚に置いても引き取りがない場合は処分します。

V. 建物配置図・国府台地区教員連絡先

国府台地区建物配置図



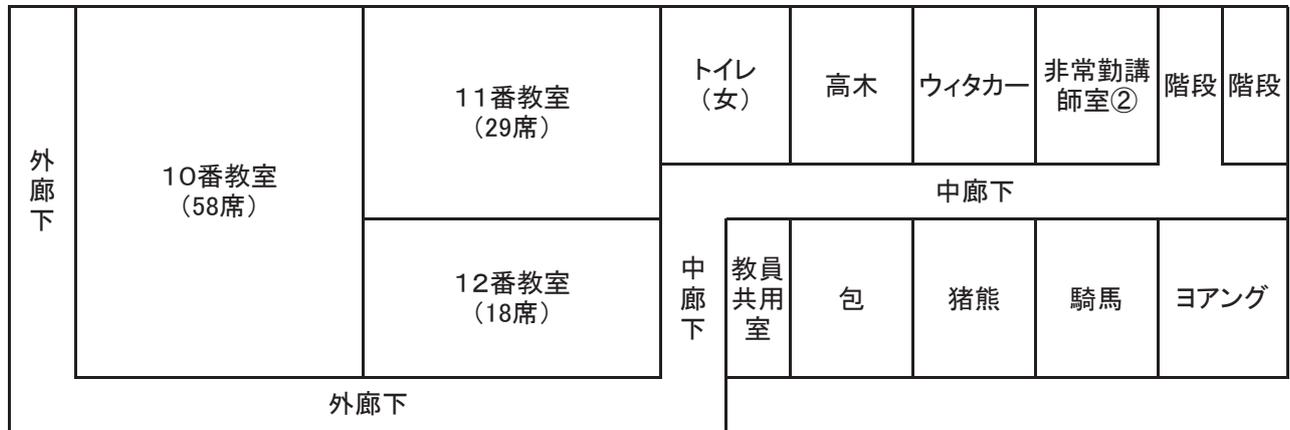
1	管理研究棟	6	武道館	11	国際学生宿舎
2	シャン・ドウ・コースリー	7	サークル室	12	ヒポクラテスホール (校舎棟)
3	国府台図書館	8	合宿研修所	13	13 番教室
4	体育館	9	弓道場		
5	里見寮	10	国際交流会館		

【教室・実習室配置場所】

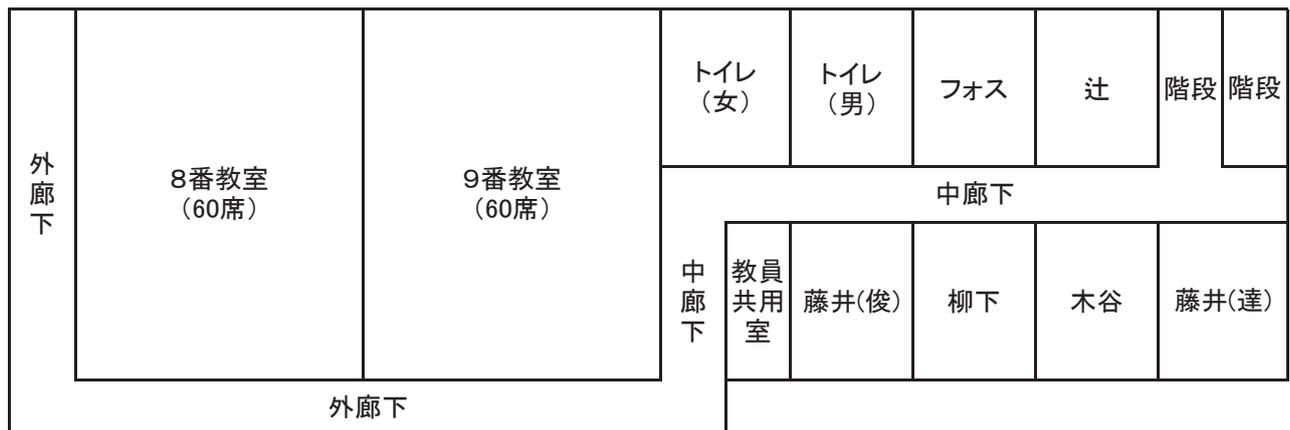
1～7 番教室 : 1 2 ヒポクラテスホール (校舎棟)
 計算機実習室・実験室 : 1 2 ヒポクラテスホール (校舎棟)
 8～12 番教室 : 1 管理研究棟

1 管理研究棟

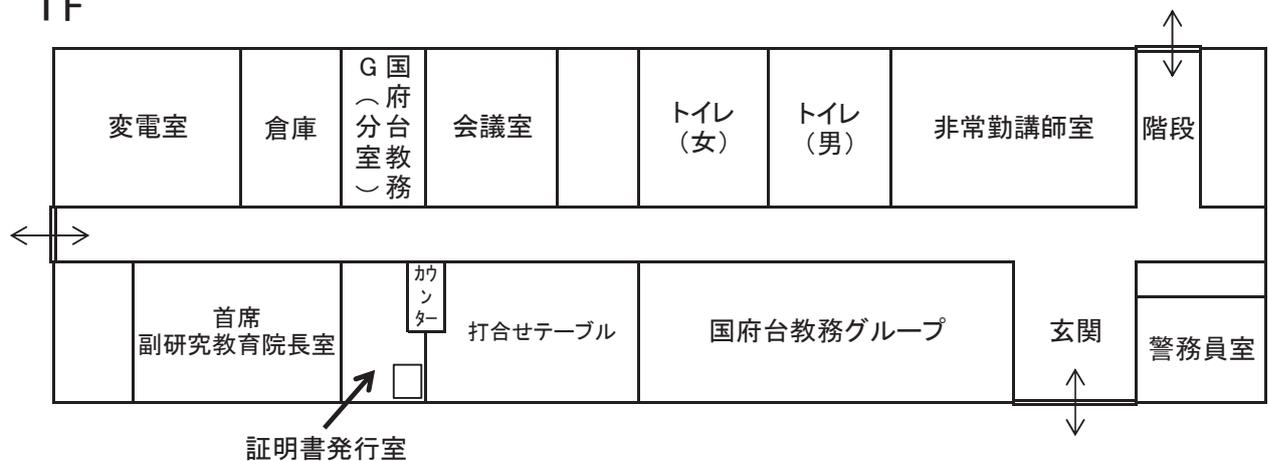
3F



2F

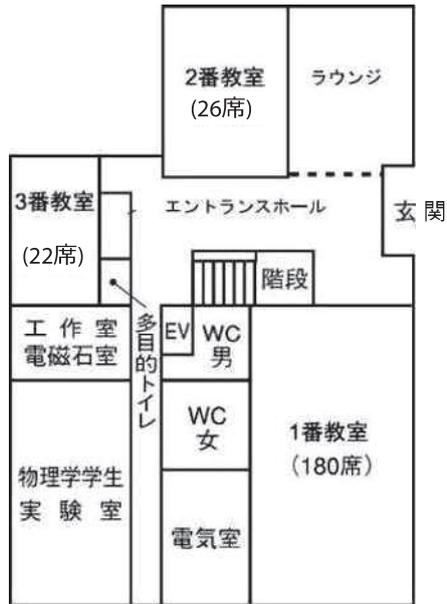


1F

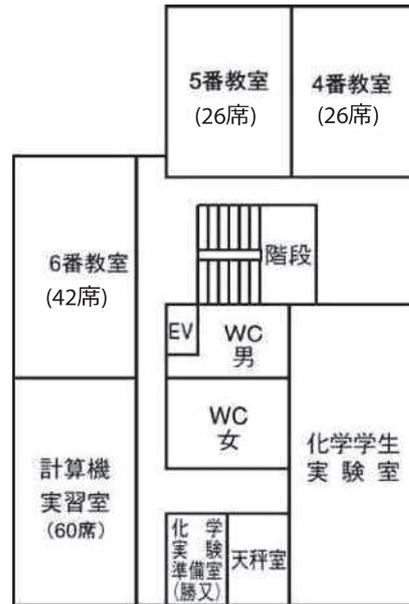


12 ヒポクラテスホール (校舎棟)

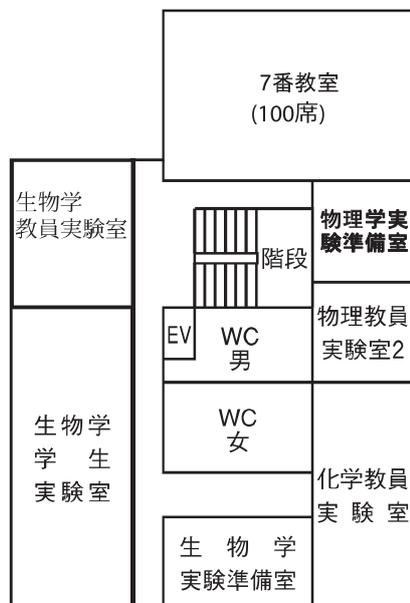
1 F



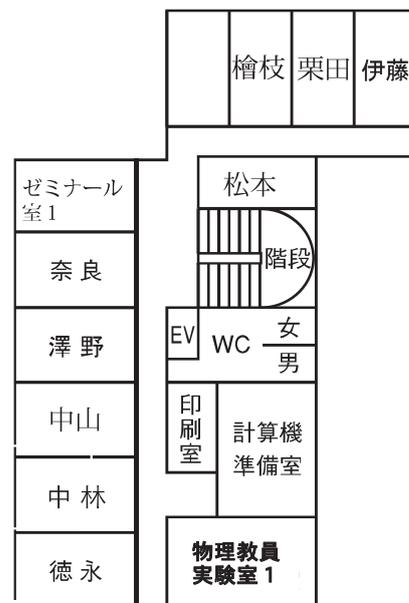
2 F



3 F

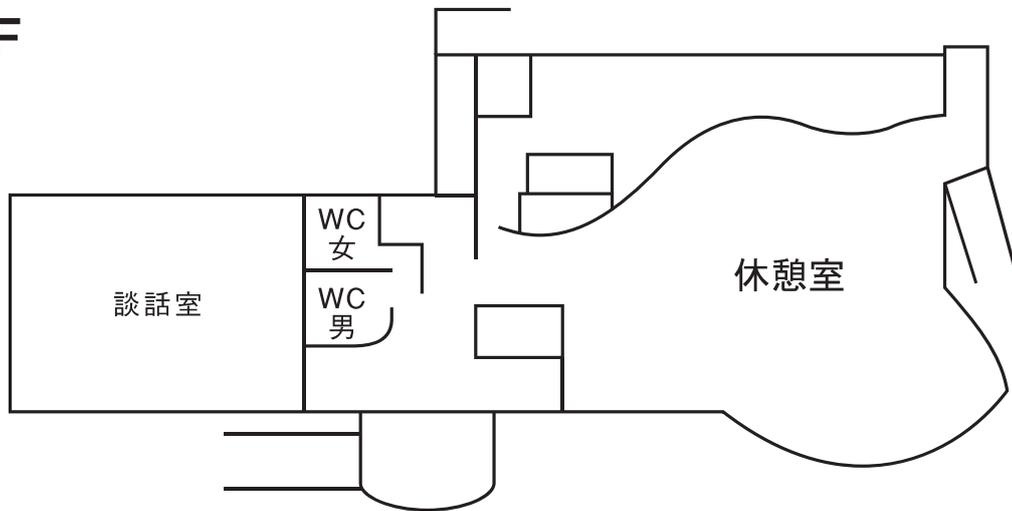


4 F

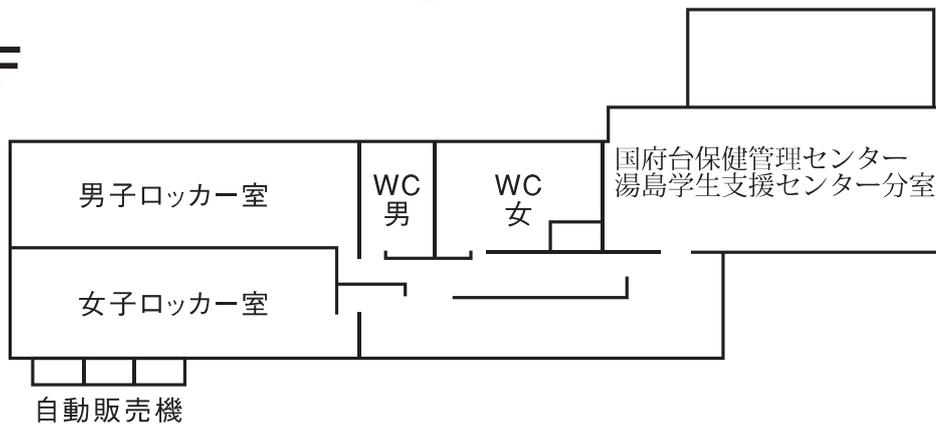


2 シャン・ドウ・コースズリー

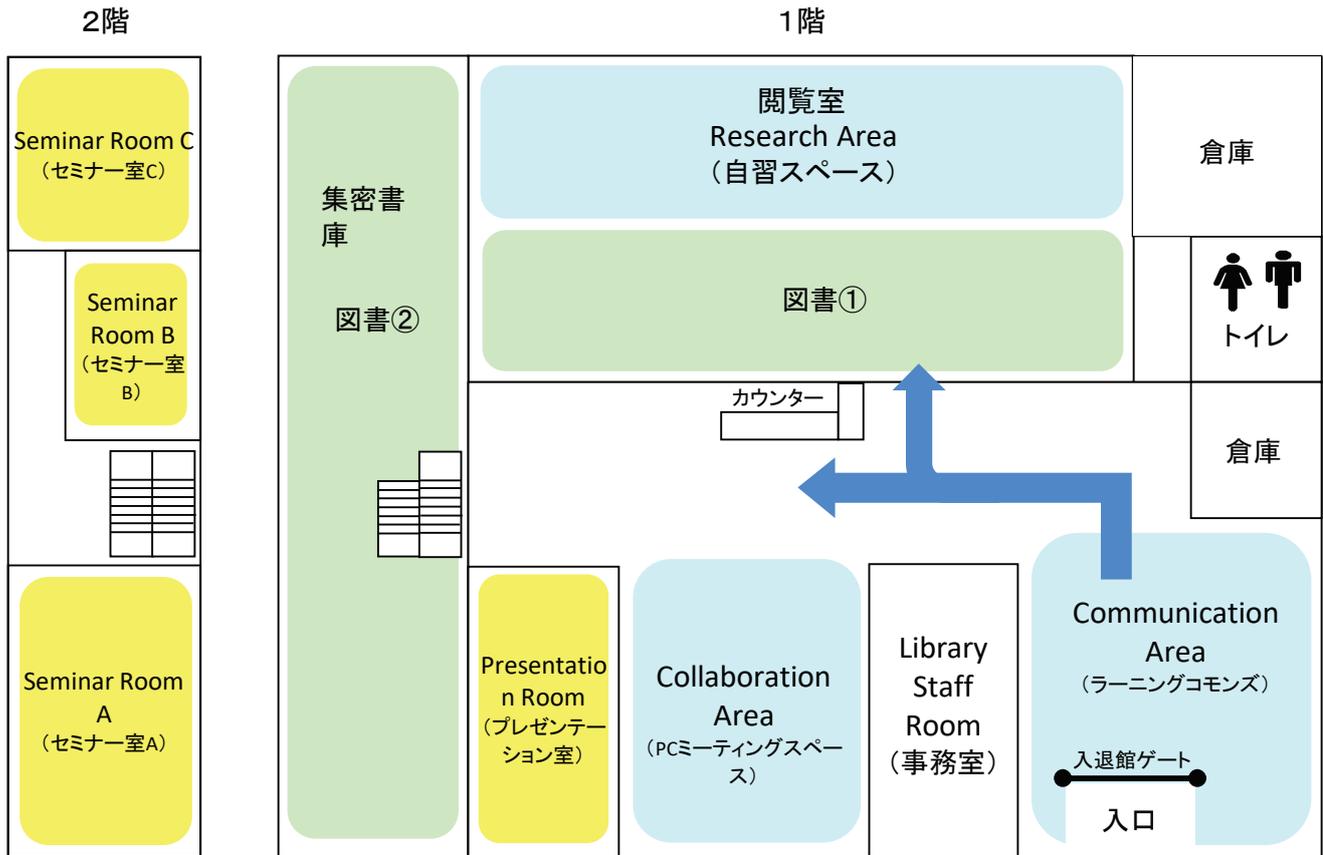
2 F



1 F



●国府台図書館



湯島地区建物配置図



- | | | |
|---------|------------|----------|
| 1. 1号館西 | 9. 3号館 | 16. 21号館 |
| 2. 2号館 | 10. M&Dタワー | 17. 22号館 |
| 3. 1号館東 | 11. 5号館 | 18. 23号館 |
| 4. 7号館 | 12. 6号館 | |
| 5. D棟 | 13. 8号館南 | |
| 6. 10号館 | 14. 8号館北 | |
| 7. A棟 | 15. C棟 | |
| 8. B棟 | | |

大岡山キャンパス



大岡山キャンパス マップ

<https://www.ssc.titech.ac.jp/amap/home/ookayama/>



大岡山東・西・南地区



大岡山東地区

1. 本館 2. 本館講義棟 3. 事務局 1・2号館 4. 事務局 3号館 5. 事務局 4号館 6. 事務局 5号館
 7. 学術国際情報センター 8. Hisao & Hiroko Taki Plaza 9. 附属図書館 (大岡山図書館) 10. 百年記念館
 11. 大岡山東 1号館 12. 大岡山東 2号館

大岡山西地区

13. 大岡山西 1号館 14. 大岡山西 2号館 15. 大岡山西 3号館 16. 大岡山西 4号館 17. 大岡山西講義棟 1(レクチャーシアター)
 18. 大岡山西講義棟 2 19. 大岡山西 7号館 20. 大岡山西 8号館(W) 21. 大岡山西 8号館(E) 22. 大岡山西 9号館
 24. 70周年記念講堂 25. 屋内運動場 28. サークル棟 2 31. サークル棟 3 48. 大岡山西 5号館 49. 大岡山西 6号館

大岡山南地区

32. 大岡山南 1号館 33. 大岡山南 2号館 34. 大岡山南 3号館 35. 大岡山南 4号館 36. 大岡山南 5号館
 37. 大岡山南 6号館 38. 大岡山南 7号館 39. 大岡山南 8号館 40. 大岡山南 9号館 41. 大岡山南講義棟
 42. 大岡山南実験棟 1 43. 大岡山南実験棟 2 44. 大岡山南実験棟 3 45. 大岡山南実験棟 4 46. 大岡山南実験棟 5
 47. サークル棟 1 (2021年オープン)

石川台地区



石川台地区

1. 石川台1号館 2. 石川台2号館 3. 石川台3号館 4. 石川台4号館 5. 石川台5号館 6. 石川台6号館
7. 石川台7号館(ELSI-1) 8. 石川台8号館(ELSI-2) 9. 石川台9号館 10. 石川台実験棟 11. 国際交流館

緑が丘・大岡山北地区



緑が丘地区

1. 緑ヶ丘1号館 2. 緑ヶ丘2号館 3. 緑ヶ丘3号館 4. 緑ヶ丘4号館 5. 緑ヶ丘5号館(創造プロジェクト館)
6. 緑ヶ丘6号館 7. 緑ヶ丘講義棟 8. 緑ヶ丘ハウス

大岡山北地区

9. 大岡山北1号館 10. 大岡山北2号館 11. 大岡山北3号館(環境エネルギーイノベーション棟) 12. 大岡山北実験棟 1
13. 大岡山北実験棟 2A・2B 14. 大岡山北実験棟 3A 15. 大岡山北実験棟 3B 16. 大岡山北実験棟 4 17. 大岡山北実験棟 5
18. 大岡山北実験棟 6 19. 大岡山北実験棟 7 20. 大岡山北実験棟 8 21. 保健管理センター 22. 80年記念館
23. サークル棟 5 24. サークル棟 6 25. 東工大蔵前会館

国府台地区授業担当教員(非常勤講師を除く)連絡先

2026年4月1日現在

氏名	分野	研究室	オフィスアワー	電話	メールアドレス	備考
木谷 真紀子	人文社会科学	管理研究棟2階	月・金 12:20～13:30	7111	makiko.las@tmd.ac.jp	
藤井 達夫	人文社会科学	管理研究棟2階	前期:金 12:30～13:30 後期:水 12:30～13:30	7115	fujii.t.ceaa@m.isct.ac.jp	メールで事前に連絡してください。
辻 泰明	人文社会科学	管理研究棟2階	前期:金 14:30～15:00 後期:水 12:30～13:00	7151	tsuji.y.29d4@m.isct.ac.jp	
中林 潤	数学	ヒポクラテス4階	月～金 10:00～17:00	7117	nakabayashi.j.0bcc@m.isct.ac.jp	
徳永 伸一	数学	ヒポクラテス4階	前期:火 12:30～13:20 後期:木 12:30～13:20	7118	tokunaga.s.59d5@m.isct.ac.jp	
中山 まどか	数学	ヒポクラテス4階	水 12:30～13:30	7116	nakayama.m.08bb@m.isct.ac.jp	メールで事前に連絡してください。
檜枝 光憲	物理学	ヒポクラテス4階	火 12:30～13:00	7120	mitsunori.hieda@ila.isct.ac.jp	
奈良 雅之	化学	ヒポクラテス4階	前期:火 12:30～13:20 後期:木 12:30～13:30	7122	nara.m.cf74@m.isct.ac.jp	
澤野 頼子	化学	ヒポクラテス4階	前期:火 12:00～13:20 後期:木 12:00～13:20	7123	sawano.y.0d97@m.isct.ac.jp	
勝又 敏行	化学	ヒポクラテス2階	木 12:30～13:20	7141	katsumata.t.6316@m.isct.ac.jp	
伊藤 正則	生物学	ヒポクラテス4階	水 12:00～17:00	7125	itohmt.las@tmd.ac.jp	
栗田 武	生物学	ヒポクラテス4階	水 13:30～17:00	7126	kurita.t.382a@m.isct.ac.jp	
松本 幸久	生物学	ヒポクラテス4階	月 14:30～18:00	7127	matsumoto.y.8854@m.isct.ac.jp	
猪熊 恵子	英語	管理研究棟3階	水・木 12:30～13:00	7134	keiko.inokuma@ila.isct.ac.jp	メールで事前に連絡してください。
Simon Whitaker	英語	管理研究棟3階	水・木 12:30～13:00	7130	simon.w.56db@m.isct.ac.jp	
Davey Young	英語	管理研究棟3階	水・木 12:30～13:00	7139	christop.y.a53c@m.isct.ac.jp	
騎馬 秀太	英語	管理研究棟3階	水・木 12:30～13:00	7131		
Patrick Foss	英語	管理研究棟2階	水 12:30～13:00	7152	foss.p.d803@m.isct.ac.jp	
包 敏	第二外国語	管理研究棟3階	水 12:30～13:00	7129	min.b.8dae@m.isct.ac.jp	
高木 佳奈	第二外国語	管理研究棟3階	木 9:00～13:00	7133	takaki@ila.isct.ac.jp	
藤井 俊吾	第二外国語	管理研究棟2階	木 12:30～13:00	7112	fujii.shungo@ila.isct.ac.jp	
柳下 和慶	フィジカルウェルビーイング	管理研究棟2階	木 12:30～13:00	7136	yagishita.k.226c@m.isct.ac.jp	

電話はダイヤルイン047-300-0000(下4桁)です。



<https://www.tmd.ac.jp/faculties/kyouyou/>